

報道関係者 各位

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課  
課長 小野 暁史 (内線 7461)  
課長補佐 後藤 敬一郎 (内線 7475)  
月報調整係 (内線 7476)  
(代表電話) 03-5253-1111  
(直通電話) 03-3595-2813

## 平成22年 人口動態統計月報年計(概数)の概況について

平成22年1～12月の人口動態統計月報(概数)を、今般とりまとめましたので公表します。

【結果のポイント】

- ・出生数は、107万1千人 (対前年1千人増加)
- ・合計特殊出生率は、1.39 (対前年0.02ポイント増加)
- ・死亡数は、119万7千人 (対前年5万5千人増加)
- ・自然増減数は、△12万6千人 (対前年5万4千人減少)
- ・婚姻件数は、70万組 (対前年8千組減少)
- ・離婚件数は、25万1千組 (対前年2千組減少)

※詳細は、別添概況をご参照ください。

### 1 調査の目的

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査の対象及び客体

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成22年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。

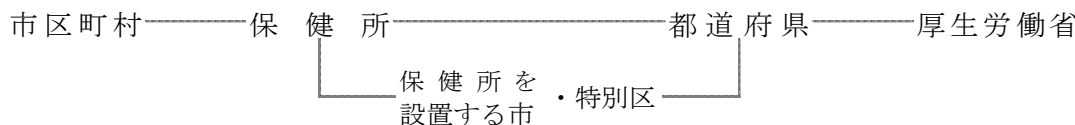
### 3 調査の期間

平成22年1月1日～平成22年12月31日

### 4 調査の方法

市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。

### 5 報告の系統



### <利用上の注意>

諸率の算出基礎となる人口について

合計特殊出生率等の諸率の算出の基礎となる人口は、本「概数」においては「平成22年10月1日現在推計人口」(総務省統計局)であるが、「確定数」においては、平成22年国勢調査の確定人口に更新する。この人口の更新の影響により、諸率の値も「概数」から「確定数」の間で変動する可能性がある。なお、諸率の値を含む「確定数」の公表は、平成22年国勢調査の年齢別人口確定後となる。

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課  
課長 小野 暁史（内線 7461）  
課長補佐 後藤 敬一郎（内線 7475）  
月報調整係（内線 7476）  
（代表電話）03-5253-1111  
（直通電話）03-3595-2813

# 平成22年 人口動態統計月報年計（概数）の概況

## 目次

	頁
<b>調査の概要</b> .....	1
<b>結果の概要</b>	
<b>1 結果の要約</b> .....	2
<b>2 出生</b>	
(1) 出生数 .....	4
(2) 合計特殊出生率 .....	6
<b>3 死亡</b>	
(1) 死亡数・死亡率 .....	8
(2) 死因 .....	10
<b>4 婚姻</b> .....	14
<b>5 離婚</b> .....	16
<b>統計表</b>	
第1表 人口動態総覧の年次推移 .....	20
第2表 人口動態総覧（率）の年次推移 .....	24
第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別 .....	28
第4表 出生数の年次推移，出生順位別 .....	28
第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別 .....	29
第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別 .....	32
第7表 死因順位（1～5位）別死亡数・死亡率（人口10万対），性・年齢（5歳階級）別 .....	36
第8表 人口動態総覧，都道府県（20大都市再掲）別 .....	42
第9表 人口動態総覧（率），都道府県（20大都市再掲）別 .....	44
第10表 主な死因の死亡数・死亡率（人口10万対），都道府県（20大都市再掲）別 .....	46
<b>参 考</b>	
合計特殊出生率について .....	48
人口動態総覧（率）の国際比較 .....	52
分母に用いた人口 .....	52



# 調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成 22 年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。
- 3 調査の期間 平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統
 

市区町村	-----	保 健 所	-----	都 道 府 県	-----	厚 生 労 働 省
		└───┬───┘				
		保健所を 設置する市		・ 特別区		
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

<利用上の注意>

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

<p>人口動態統計速報 数値：調査票を作成した数</p> <p>集計客体：日本における日本人及び 外国人、並びに外国における日本人 (いずれも前年以前発生のものを含む)</p> <p>公表：毎月（調査月の約2か月後）</p>	<p>人口動態統計月報 数値：概数</p> <p>集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く)</p> <p>公表：毎月（調査月の約5か月後）</p> <p>※ <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">：毎年（年間合計） （調査年の翌年6月）</span></p>	<p>人口動態統計年報 数値：確定数（概数に修正を加えたもの）</p> <p>集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、外国における 日本人及び前年以前発生ものは別掲)</p> <p>公表：毎年（調査年の翌年9月）</p> <p>※平成 22 年については、 実数 9月 諸率 国勢調査の年齢別人口確定後</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※本概況は中央の破線の部分である。

- 2 諸率の算出基礎となる人口について
 

合計特殊出生率等の諸率の算出の基礎となる人口は、本「概数」においては「平成 22 年 10 月 1 日現在推計人口」（総務省統計局）であるが、「確定数」においては、平成 22 年国勢調査の確定人口に更新する。この人口の更新の影響により、諸率の値も「概数」から「確定数」の間で変動する可能性がある。なお、諸率の値を含む「確定数」の公表は、平成 22 年国勢調査の年齢別人口確定後となる。
- 3 表章記号の規約
 

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	…
比率が微小（0.05, 0.00005 未満）の場合	0.0, 0.0000
減少数（率）の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。
- 4 用語の説明
 

自 然 増 減：出生数から死亡数を減じたもの

乳 児 死 亡：生後 1 年未満の死亡

新 生 児 死 亡：生後 4 週未満の死亡

早期新生児死亡：生後 1 週未満の死亡

死 産：妊娠満 12 週以後の死児の出産

周 産 期 死 亡：妊娠満 22 週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

合計特殊出生率：その年次の 15 歳～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女性が仮にそ（期間合計特殊出生率）の年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。（実際に 1 人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。）
- 5 この概況で使用した数値は、平成 21 年以前は確定数である。
- 6 昭和 47 年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和 19～21 年は資料不備のため省略した。
- 7 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

# 結果の概要

## 1 結果の要約

### (1) 出生数は増加

出生数は107万1306人で、前年の107万35人より1271人増加し、出生率（人口千対）は前年と同率の8.5となった。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、34歳以下の各階級及び50歳以上では前年より減少しているが、35歳～49歳の各階級では前年に引き続き増加した。

また、出生順位別にみると、第1子は減少したが、第2子、第3子以上は増加した。

### (2) 死亡数は増加

死亡数は119万7066人で、前年の114万1865人より5万5201人増加し、死亡率（人口千対）は9.5で、前年の9.1を上回った。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患となっている。全死亡者に占める割合はそれぞれ、29.5%、15.8%、10.3%であり、死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

### (3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△12万5760人で、前年の△7万1830人より5万3930人減少し、自然増減率（人口千対）は△1.0で、前年の△0.6を下回り、4年連続でマイナスとなった。

出生数が死亡数を下回った県は40道府県であり、出生数が死亡数を上回った県は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、滋賀県、沖縄県の7都県となっている。

### (4) 死産数は減少

死産数は2万6571胎で、前年の2万7005胎より434胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は24.2で、前年の24.6を下回った。死産率のうち、自然死産率は11.2で、前年の11.1を上回り、人工死産率は13.0で、前年の13.5を下回った。

## (5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は70万213組で、前年の70万7734組より7521組減少し、婚姻率（人口千対）は5.5で前年の5.6を下回った。

平均初婚年齢は夫30.5歳、妻28.8歳で、夫は前年より0.1歳、妻は前年より0.2歳上昇している。

## (6) 離婚件数は減少

離婚件数は25万1383組で、前年の25万3353組より1970組減少し、離婚率（人口千対）は1.99で、前年の2.01を下回った。

表1 人口動態総覧

	実 数			率		平均発生間隔	
	平成22年 概数	平成21年 確定数	対前年増減	平成22年 概数値	平成21年 確定値	平成22年 概数値	平成21年 確定値
出 生	1 071 306	1 070 035	1 271	8.5	8.5	分 秒 29"	分 秒 29"
死 亡	1 197 066	1 141 865	55 201	9.5	9.1	26"	28"
乳児死亡	2 450	2 556	△ 106	2.3	2.4	214' 32"	205' 38"
新生児死亡	1 167	1 254	△ 87	1.1	1.2	450' 23"	419' 8"
自然増減	△ 125 760	△ 71 830	△ 53 930	△ 1.0	△ 0.6	…	…
死 産	26 571	27 005	△ 434	24.2	24.6	19' 47"	19' 28"
自然死産	12 251	12 214	37	11.2	11.1	42' 54"	43' 2"
人工死産	14 320	14 791	△ 471	13.0	13.5	36' 42"	35' 32"
周産期死亡	4 518	4 519	△ 1	4.2	4.2	116' 20"	116' 19"
妊娠満22週 以後の死産	3 640	3 645	△ 5	3.4	3.4	144' 24"	144' 12"
早期新生児 死 亡	878	874	4	0.8	0.8	598' 38"	601' 22"
婚 姻	700 213	707 734	△ 7 521	5.5	5.6	45"	45"
離 婚	251 383	253 353	△ 1 970	1.99	2.01	2' 5"	2' 4"

	平成22年 概数値	平成21年 確定値
合計特殊出生率	1.39	1.37

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

## 2 出生

### (1) 出生数

平成 22 年の出生数は 107 万 1306 人で、前年の 107 万 35 人より 1271 人増加した。

第 1 次ベビーブーム期（昭和 22～24 年）に生まれた女性が出産したことにより、昭和 46～49 年には第 2 次ベビーブームとなり、1 年間に 200 万人を超える出生数であった。昭和 50 年以降は毎年減少し続け、平成 4 年以降は増加と減少を繰り返しながら、ゆるやかな減少傾向であったが、平成 13 年からは 5 年連続で減少した。平成 18 年は 6 年ぶりに増加したが、平成 19 年は減少、平成 20 年は増加、平成 21 年は減少、平成 22 年は再び増加した。（図 1）

出生率（人口千対）は、前年と同率の 8.5 となった。

出生数を母の年齢（5 歳階級）別にみると、34 歳以下の各階級及び 50 歳以上では前年より減少したが、35 歳～49 歳の各階級では増加となった。（表 2－1）

出生順位別にみると、いずれの出生順位についても平成 13 年から 5 年連続で減少したが、平成 18 年には 6 年ぶりに増加した。平成 19 年及び平成 20 年は、第 1 子、第 2 子は減少し、第 3 子以上は増加、平成 21 年は全てで減少した。平成 22 年は、第 1 子が減少する一方で、第 2 子、第 3 子以上は増加した。（表 2－2）

第 1 子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあり、平成 22 年は 29.9 歳である。（表 3）

図 1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

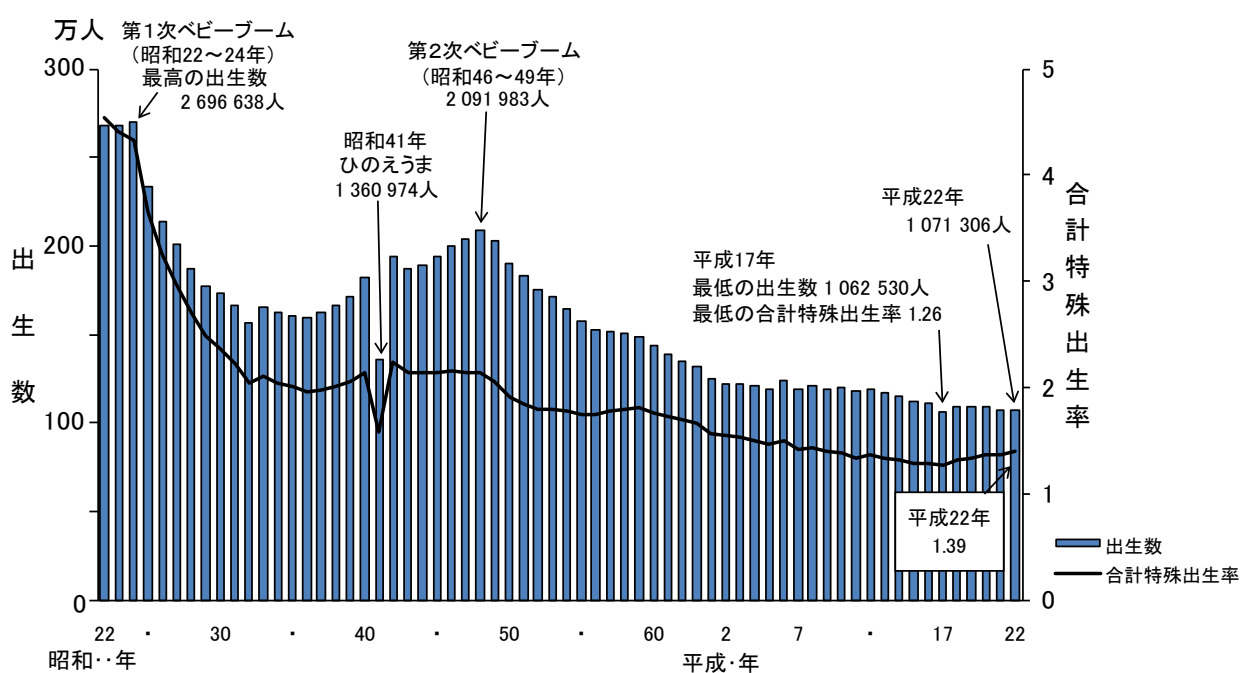


表 2 - 1 母の年齢（5歳階級）別にみた出生数の年次推移

母の年齢	出 生 数				対前年増減		
	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	20年-19年	21年-20年	22年-21年
総 数	1 089 818	1 091 156	1 070 035	1 071 306	1 338	△ 21 121	1 271
～14歳	39	38	67	51	△ 1	29	△ 16
15～19	15 211	15 427	14 620	13 494	216	△ 807	△ 1 126
20～24	126 180	124 691	116 808	110 956	△ 1 489	△ 7 883	△ 5 852
25～29	324 041	317 753	307 765	306 913	△ 6 288	△ 9 988	△ 852
30～34	412 611	404 771	389 793	384 382	△ 7 840	△ 14 978	△ 5 411
35～39	186 568	200 328	209 706	220 103	13 760	9 378	10 397
40～44	24 553	27 522	30 566	34 610	2 969	3 044	4 044
45～49	590	594	684	773	4	90	89
50歳以上	19	24	20	19	5	△ 4	△ 1

注：総数には母の年齢不詳を含む。

表 2 - 2 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出 生 数				対前年増減		
	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	20年-19年	21年-20年	22年-21年
総 数	1 089 818	1 091 156	1 070 035	1 071 306	1 338	△ 21 121	1 271
第 1 子	519 767	517 724	512 742	509 738	△ 2 043	△ 4 982	△ 3 004
第 2 子	403 656	402 152	390 073	390 210	△ 1 504	△ 12 079	137
第 3 子以上	166 395	171 280	167 220	171 358	4 885	△ 4 060	4 138

表 3 第 1 子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和50年	60	平成7年	17	19	20	21	22
平均年齢	25.7	26.7	27.5	29.1	29.4	29.5	29.7	29.9



## (2) 合計特殊出生率

平成 22 年の合計特殊出生率は 1.39 で、前年の 1.37 を上回った。

昭和 40 年代は、第 2 次ベビーブーム期（昭和 46～49 年）を含めほぼ 2.1 台で推移し、昭和 50 年に 2.00 を下回ってからは低下傾向が続き、平成 18 年に 6 年ぶりに上昇してからは 3 年連続上昇した。平成 21 年は前年と同率であったが、平成 22 年は上昇した。

（統計表第 2 表、図 2）

年齢（5 歳階級）別にみると、15～24 歳の各階級では減少し、25～49 歳の各階級では上昇した。最も合計特殊出生率が高いのは、30～34 歳となっている。（表 4-1、図 2）

出生順位別にみると、第 1 子、第 2 子、第 3 子以上の全てで上昇した。（表 4-2）

都道府県別にみると、沖縄県（1.83）、宮崎県と島根県（1.63）、熊本県（1.61）、鹿児島県（1.60）等が高く、東京都（1.12）、北海道（1.21）、京都府（1.22）等大都市を含む地域が低くなっている。（表 5、図 3）

**表 4-1 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）**

年 齢	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	19	20	21	22	20年-19年	21年-20年	22年-21年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.34	1.37	1.37	1.39	0.03	0.00	0.02
15～19 歳	0.0229	0.0185	0.0253	0.0246	0.0256	0.0249	0.0231	0.0010	△ 0.0007	△ 0.0018
20～24	0.3173	0.2022	0.1823	0.1831	0.1847	0.1779	0.1731	0.0016	△ 0.0068	△ 0.0048
25～29	0.8897	0.5880	0.4228	0.4341	0.4378	0.4320	0.4352	0.0037	△ 0.0058	0.0032
30～34	0.4397	0.4677	0.4285	0.4614	0.4718	0.4756	0.4847	0.0104	0.0038	0.0091
35～39	0.0846	0.1311	0.1761	0.2025	0.2132	0.2217	0.2339	0.0107	0.0085	0.0122
40～44	0.0094	0.0148	0.0242	0.0305	0.0329	0.0354	0.0390	0.0024	0.0025	0.0036
45～49	0.0003	0.0004	0.0008	0.0008	0.0008	0.0009	0.0010	0.0000	0.0001	0.0001

注：年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

**表 4-2 出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移**

出生順位	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	19	20	21	22	20年-19年	21年-20年	22年-21年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.34	1.37	1.37	1.39	0.03	0.00	0.02
第 1 子	0.7611	0.6607	0.6240	0.6590	0.6712	0.6782	0.6831	0.0122	0.0070	0.0049
第 2 子	0.6950	0.5209	0.4643	0.4847	0.4933	0.4889	0.4975	0.0086	△ 0.0044	0.0086
第 3 子以上	0.3078	0.2410	0.1717	0.1933	0.2023	0.2013	0.2096	0.0090	△ 0.0010	0.0083

図2 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

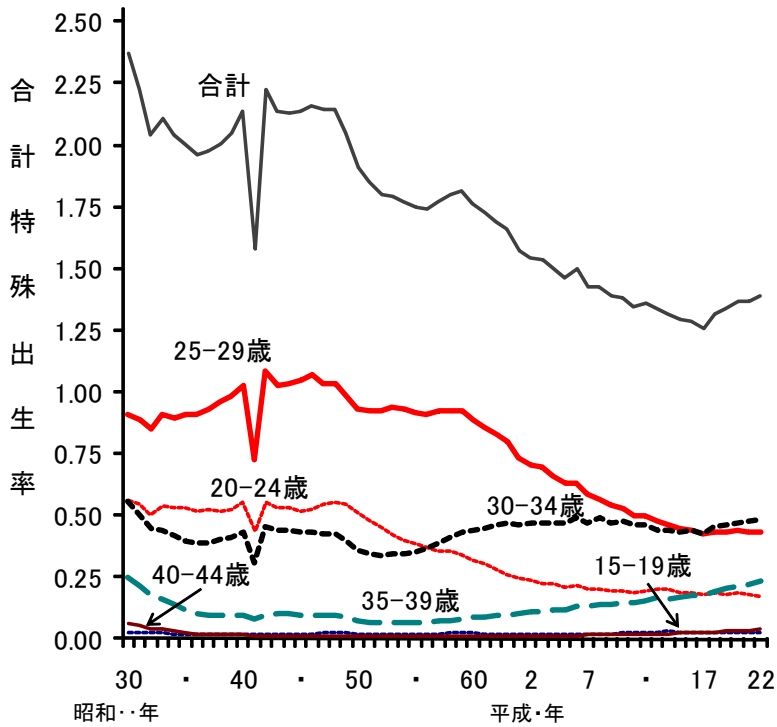


図3 都道府県別合計特殊出生率（平成22年）

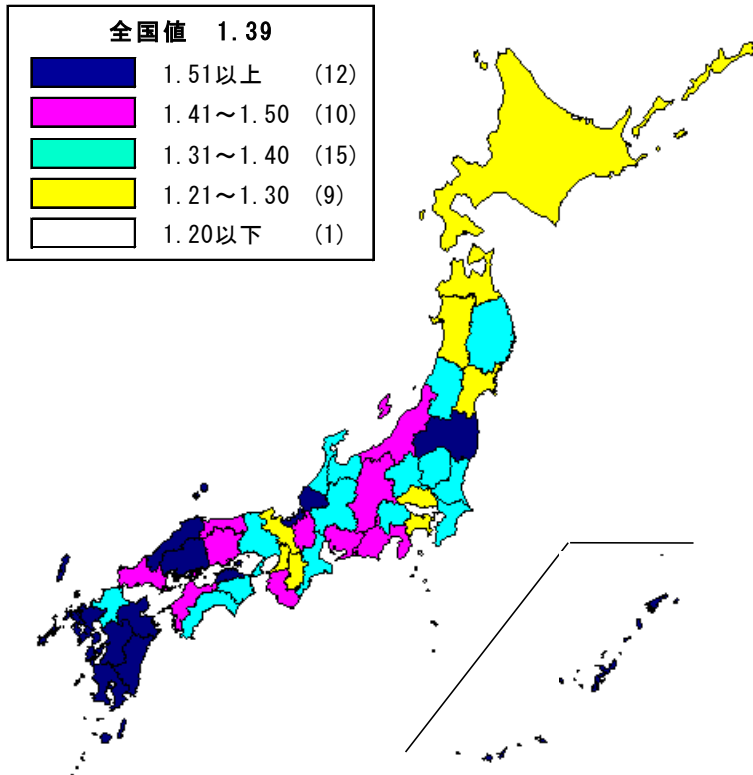


表5 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成22年	平成21年
全 国	1.39	1.37
北 海 道	1.21	1.19
青 森 県	1.30	1.26
岩 手 県	1.39	1.37
宮 城 県	1.27	1.25
秋 田 県	1.24	1.29
山 形 県	1.40	1.39
福 島 県	1.51	1.49
茨 城 県	1.38	1.37
栃 木 県	1.40	1.43
群 馬 県	1.39	1.38
埼 玉 県	1.29	1.28
千 葉 県	1.31	1.31
東 京 都	1.12	1.12
神 奈 川 県	1.29	1.28
新 潟 県	1.41	1.37
富 山 県	1.39	1.37
石 川 県	1.40	1.40
福 井 県	1.55	1.55
山 梨 県	1.34	1.31
長 野 県	1.47	1.43
岐 阜 県	1.37	1.37
静 岡 県	1.48	1.43
愛 知 県	1.46	1.43
三 重 県	1.39	1.40
滋 賀 県	1.48	1.44
京 都 府	1.22	1.20
大 阪 府	1.30	1.28
兵 庫 県	1.36	1.33
奈 良 県	1.25	1.23
和 歌 山 県	1.42	1.36
鳥 取 県	1.48	1.46
島 根 県	1.63	1.55
山 梨 県	1.45	1.39
山 梨 県	1.51	1.47
山 梨 県	1.50	1.43
徳 島 県	1.40	1.35
香 川 県	1.55	1.48
愛 媛 県	1.43	1.41
高 知 県	1.32	1.29
福 岡 県	1.40	1.37
佐 賀 県	1.56	1.49
長 崎 県	1.54	1.50
熊 本 県	1.61	1.58
大 分 県	1.55	1.50
宮 崎 県	1.63	1.61
鹿 児 島 県	1.60	1.56
沖 縄 県	1.83	1.79

注：分母に用いた人口は、全国は各歳別日本人人口、都道府県は5歳階級別総人口。

### 3 死亡

#### (1) 死亡数・死亡率

平成22年の死亡数は119万7066人で、前年の114万1865人より5万5201人増加し、死亡率（人口千対）は9.5で、前年の9.1を上回った。

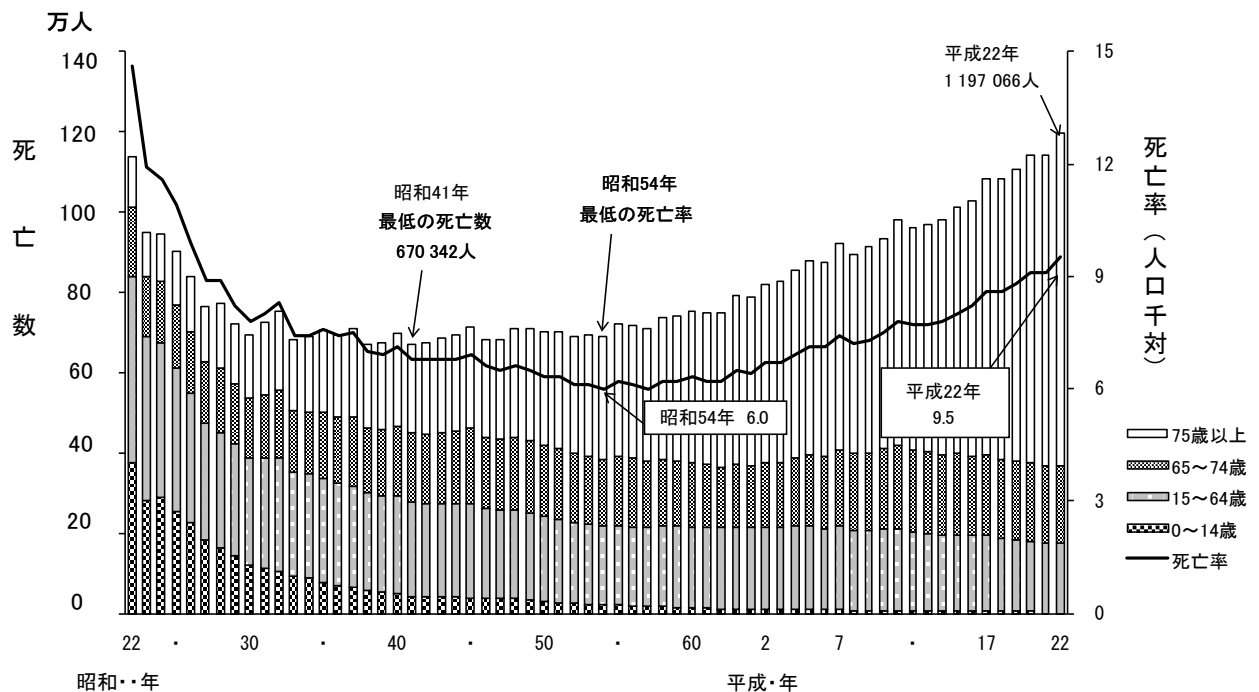
昭和30年以降は70万人前後で推移していたが、昭和50年代後半から増加傾向となり、平成2年以降は80万人台、平成7年以降にはほぼ90万人台となり、平成15年からは100万人をこえ、平成19年からは110万人台となっている。

昭和50年代後半から75歳以上の高齢者の死亡が増加しており、平成20年からは死亡数の約3分の2を占めている。（図4）

年齢（5歳階級）別に死亡率（人口10万対）をみると、59歳以下のほとんどの年齢階級で前年より低下している。（表6-1）

死亡率性比（男の死亡率/女の死亡率×100）を年齢（5歳階級）別にみると、全年齢階級で100以上となっており、男の死亡率が高いことを示している。また、55～84歳の各年齢階級では、男の死亡率が女の死亡率の2倍以上となっている。（表6-2）

図4 死亡数及び死亡率の年次推移



**表 6 - 1 年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）**

年齢階級	死 亡 数			死 亡 率		
	平成22年	平成21年	対前年増減	平成22年	平成21年	対前年増減
総数	1 197 066	1 141 865	55 201	947.3	907.5	39.8
0～4歳	3 382	3 460	△ 78	62.9	65.0	△ 2.1
5～9	480	534	△ 54	8.7	9.5	△ 0.8
10～14	553	487	66	9.4	8.3	1.1
15～19	1 421	1 467	△ 46	23.7	24.4	△ 0.7
20～24	2 754	2 960	△ 206	42.3	44.3	△ 2.0
25～29	3 434	3 561	△ 127	47.6	49.0	△ 1.4
30～34	4 838	4 931	△ 93	59.7	58.7	1.0
35～39	7 554	7 786	△ 232	78.8	81.7	△ 2.9
40～44	10 162	10 375	△ 213	118.5	123.2	△ 4.7
45～49	14 529	14 584	△ 55	183.1	189.3	△ 6.2
50～54	22 012	22 686	△ 674	290.2	296.5	△ 6.3
55～59	39 327	41 934	△ 2 607	456.7	462.8	△ 6.1
60～64	66 091	61 606	4 485	662.5	658.5	4.0
65～69	83 082	82 052	1 030	1 011.6	983.6	28.0
70～74	110 247	109 527	720	1 577.0	1 592.2	△ 15.2
75～79	163 093	159 471	3 622	2 730.5	2 753.8	△ 23.3
80～84	211 270	201 406	9 864	4 837.9	4 771.5	66.4
85～89	207 304	189 913	17 391	8 396.3	8 175.3	221.0
90～94	151 965	139 746	12 219	14 528.2	14 466.5	61.7
95～99	75 389	67 799	7 590	22 639.3	21 730.4	908.9
100歳以上	17 513	14 949	2 564	30 724.6	31 143.8	△ 419.2

注：総数には年齢不詳を含む。

**表 6 - 2 性・年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率  
（人口10万対）・死亡率性比（平成22年）**

年齢階級	死 亡 数		死 亡 率		死亡率性比
	男	女	男	女	
総数	633 724	563 342	1 029.2	869.4	118.4
0～4歳	1 873	1 509	67.9	57.7	117.7
5～9	261	219	9.2	8.1	113.6
10～14	350	203	11.6	7.1	163.4
15～19	941	480	30.6	16.4	186.6
20～24	1 963	791	58.6	25.0	234.4
25～29	2 409	1 025	65.2	29.1	224.1
30～34	3 178	1 660	77.1	41.6	185.3
35～39	4 866	2 688	100.1	56.9	175.9
40～44	6 629	3 533	152.9	83.4	183.3
45～49	9 564	4 965	239.3	126.0	189.9
50～54	14 636	7 376	386.2	194.4	198.7
55～59	27 134	12 193	636.5	280.4	227.0
60～64	46 150	19 941	945.9	391.2	241.8
65～69	57 464	25 618	1 466.7	596.5	245.9
70～74	73 466	36 781	2 265.4	981.1	230.9
75～79	102 677	60 416	3 940.0	1 794.9	219.5
80～84	119 806	91 464	6 969.5	3 454.1	201.8
85～89	89 915	117 389	11 662.1	6 909.3	168.8
90～94	49 203	102 762	19 295.3	12 991.4	148.5
95～99	17 850	57 539	27 890.6	21 390.0	130.4
100歳以上	2 860	14 653	35 750.0	29 904.1	119.5

注：1）総数には年齢不詳を含む。

2）死亡率性比＝男の死亡率/女の死亡率×100

## (2) 死因

### ① 死因順位

平成 22 年の死亡数・死亡率（人口 10 万対）を死因順位別にみると、第 1 位は悪性新生物で 35 万 3318 人、279.6、第 2 位は心疾患 18 万 9192 人、149.7、第 3 位は脳血管疾患 12 万 3393 人、97.6 となっている。（表 7）

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物は、一貫して上昇を続け、昭和 56 年以降死因順位第 1 位となり、平成 22 年の全死亡者に占める割合は 29.5%となっている。全死亡者のおよそ 3 人に 1 人は悪性新生物で死亡したことになる。

心疾患は、昭和 60 年に脳血管疾患にかわり第 2 位となり、その後も死亡数・死亡率ともに上昇傾向であったが、平成 21 年に減少した。平成 22 年は再び上昇し、全死亡者に占める割合は 15.8%となっている。

脳血管疾患は、昭和 26 年に結核にかわって第 1 位となったが、昭和 45 年をピークに低下しはじめ、昭和 56 年には悪性新生物にかわり第 2 位となった。昭和 60 年には心疾患にかわって第 3 位となり、その後も死亡数・死亡率ともに低下を続けていたが、平成 22 年は上昇し、全死亡者に占める割合は 10.3%となっている。（図 5、図 6）

図 5 主な死因別死亡数の割合（平成 22 年）

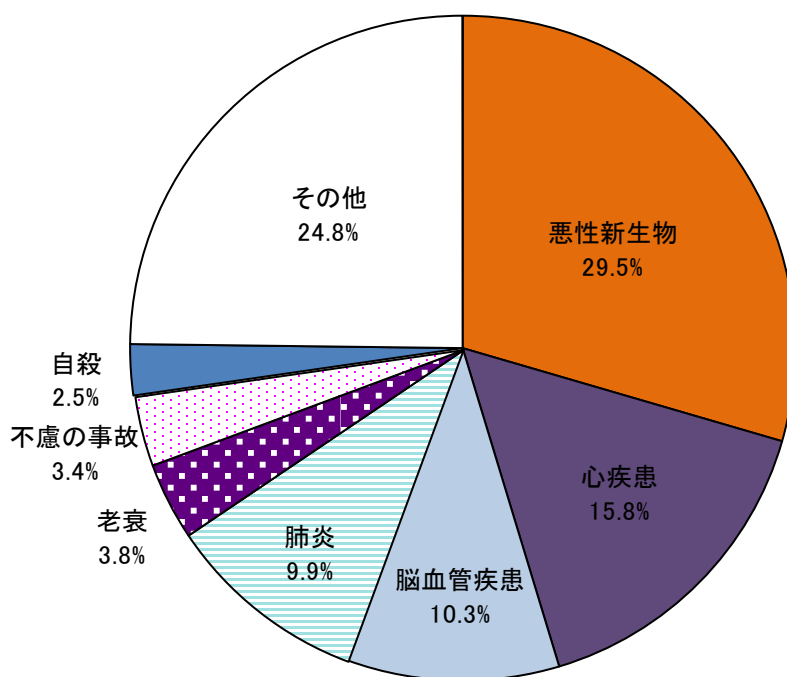
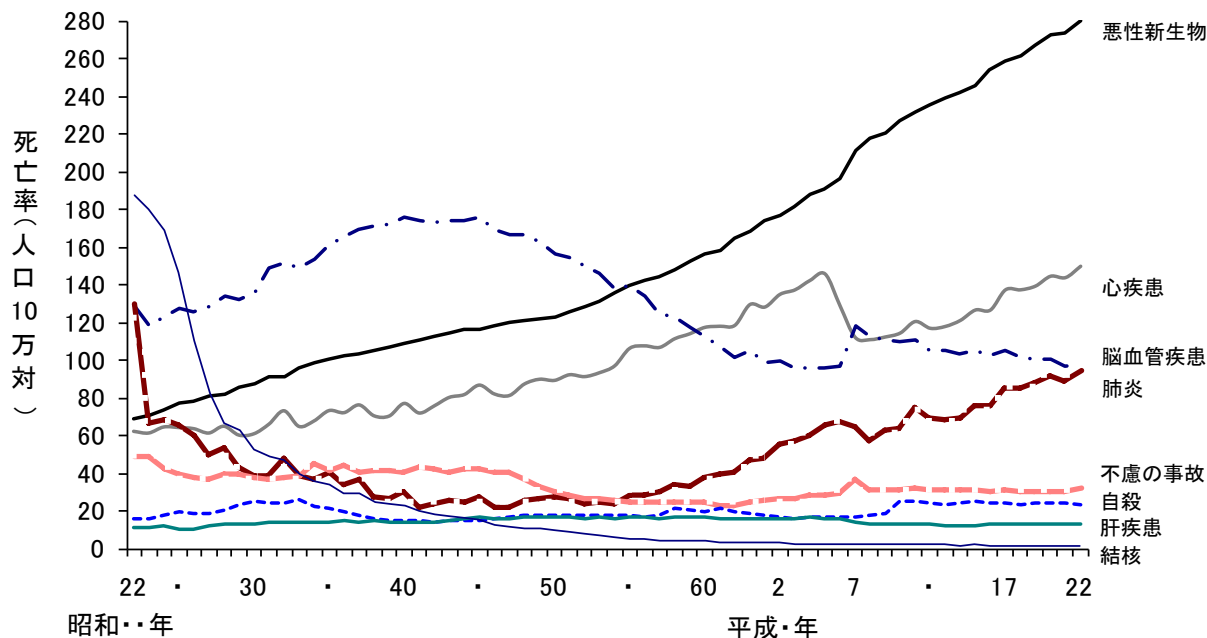


表7 性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口10万対）

死 因	平成22年						平成21年	
	総 数		男		女		総 数	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 死 因	1 197 066	947.3	633 724	1029.2	563 342	869.4	1 141 865	907.5
悪 性 新 生 物	(1) 353 318	279.6	(1) 211 322	343.2	(1) 141 996	219.1	(1) 344 105	273.5
心 疾 患	(2) 189 192	149.7	(2) 88 695	144.0	(2) 100 497	155.1	(2) 180 745	143.7
脳 血 管 疾 患	(3) 123 393	97.6	(4) 60 151	97.7	(3) 63 242	97.6	(3) 122 350	97.2
肺 炎	(4) 118 806	94.0	(3) 63 518	103.2	(4) 55 288	85.3	(4) 112 004	89.0
老 衰	(5) 45 323	35.9	(9) 10 787	17.5	(5) 34 536	53.3	(5) 38 670	30.7
不 慮 の 事 故	(6) 40 583	32.1	(5) 23 914	38.8	(6) 16 669	25.7	(6) 37 756	30.0
自 殺	(7) 29 524	23.4	(6) 21 008	34.1	(8) 8 516	13.1	(7) 30 707	24.4
腎 不 全	(8) 23 691	18.7	(8) 11 013	17.9	(7) 12 678	19.6	(8) 22 743	18.1
慢性閉塞性肺疾患	(9) 16 275	12.9	(7) 12 669	20.6	(16) 3 606	5.6	(10) 15 359	12.2
肝 疾 患	(10) 16 180	12.8	(10) 10 591	17.2	(11) 5 589	8.6	(9) 15 969	12.7

注：1）（ ）内の数字は死因順位を示す。  
 2）女の9位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数は6 949、死亡率は10.7である。  
 3）女の10位は「糖尿病」で死亡数は6 797、死亡率は10.5である。  
 4）「結核」は死亡数が2 126、死亡率は1.7で第26位となっている。  
 5）「熱中症」は死亡数が1 718、死亡率は1.4である。

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移



注：1）平成6・7年の心疾患の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。  
 2）平成7年の脳血管疾患の上昇の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

## ② 年齢別死因

平成22年の死因を性・年齢（5歳階級）別に構成割合で見ると、5～14歳では不慮の事故及び悪性新生物が、15～19歳及び20歳代では自殺及び不慮の事故が多く、30歳代、40歳代では自殺及び悪性新生物が多い。40歳代からは年齢が高くなるにしたがって、悪性新生物の占める割合が多くなり、男では60歳代で、女では50歳代でピークとなる。それ以降は男女とも心疾患、脳血管疾患、肺炎の占める割合が、年齢が高くなるとともに多くなっている。男では90歳代で肺炎が最も多く、女では85歳以上100歳未満で心疾患、100歳以上では男女ともに老衰が最も多くなっている。（図7-1）

また、減少を続ける1歳未満の乳児死亡数は6年連続で3000人を下回り、その死因別構成割合をみると、「先天奇形、変形及び染色体異常」の占める割合が多い。（図7-2）

図7-1 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成22年）

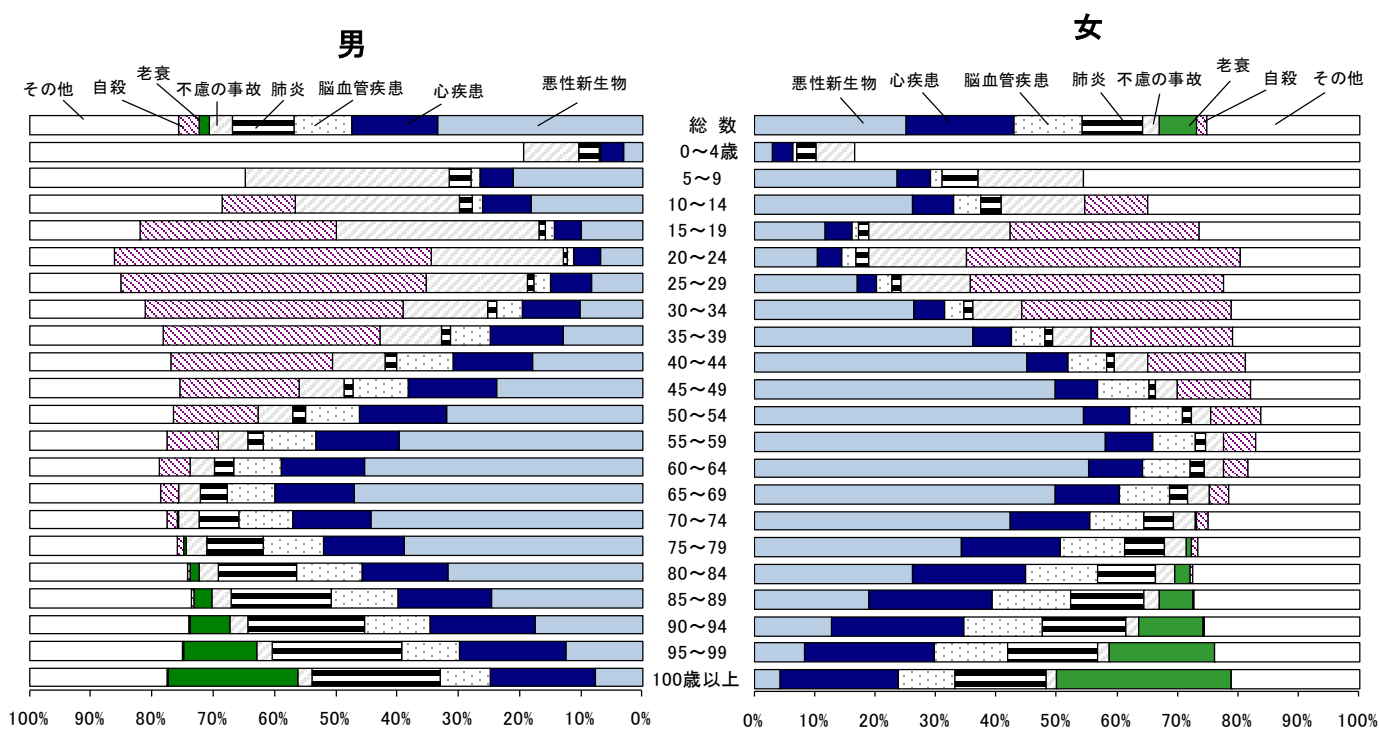
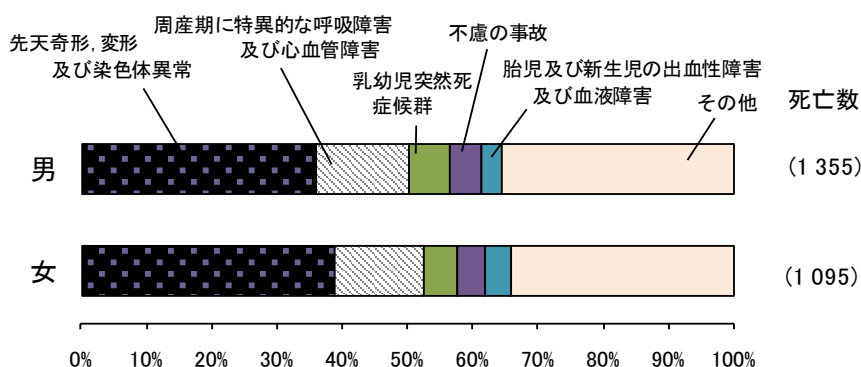


図7-2 乳児死亡の主な死因の構成割合（平成22年）



### ③ 部位別にみた悪性新生物

悪性新生物について死亡数・死亡率を部位別にみると、男の「肺」は上昇傾向が著しく、平成5年に「胃」を上回って第1位となり、平成22年の死亡数は5万369人、死亡率（人口10万対）は81.8となっている。

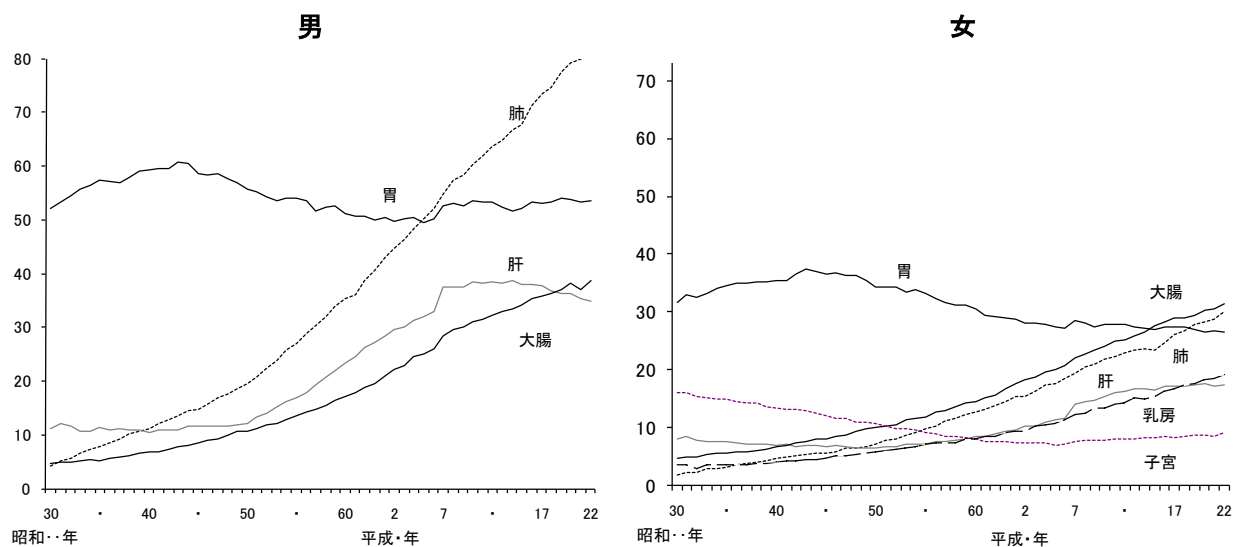
また、女の「大腸」と「肺」は上昇傾向が続いており、「大腸」は平成15年に「胃」を上回って第1位となり、平成22年の死亡数は2万314人、死亡率（人口10万対）は31.4となっている。（表8、図8）

**表8 悪性新生物の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）**

部位	昭和40年	50	60	平成7年	17	19	20	21	22
男									
胃	28 636	30 403	30 146	32 015	32 643	33 143	32 973	32 776	32 928
肝	5 006	6 677	13 780	22 773	23 203	22 300	22 332	21 637	21 498
肺	5 404	10 711	20 837	33 389	45 189	47 685	48 610	49 035	50 369
大腸	3 265	5 799	10 112	17 312	22 146	22 846	23 419	22 762	23 914
女									
胃	17 749	19 454	18 756	18 061	17 668	17 454	17 187	17 241	17 185
肝	3 499	3 696	5 192	8 934	11 065	11 299	11 333	11 088	11 251
肺	2 321	4 048	7 753	12 356	16 874	17 923	18 239	18 548	19 409
乳房	1 966	3 262	4 922	7 763	10 721	11 323	11 797	11 918	12 454
子宮	6 689	6 075	4 912	4 865	5 381	5 622	5 709	5 524	5 928
大腸	3 335	5 654	8 926	13 962	18 684	19 013	19 592	19 672	20 314
男									
胃	59.4	55.6	51.1	52.6	53.0	53.9	53.7	53.4	53.5
肝	10.4	12.2	23.3	37.4	37.7	36.3	36.4	35.3	34.9
肺	11.2	19.6	35.3	54.8	73.3	77.5	79.1	79.9	81.8
大腸	6.8	10.6	17.1	28.4	35.9	37.1	38.1	37.1	38.8
女									
胃	35.5	34.4	30.6	28.5	27.4	27.0	26.6	26.7	26.5
肝	7.0	6.5	8.5	14.1	17.1	17.5	17.6	17.2	17.4
肺	4.6	7.2	12.7	19.5	26.1	27.8	28.3	28.8	30.0
乳房	3.9	5.8	8.0	12.2	16.6	17.5	18.3	18.5	19.2
子宮	13.4	10.7	8.0	7.7	8.3	8.7	8.8	8.6	9.1
大腸	6.7	10.0	14.6	22.0	28.9	29.4	30.4	30.5	31.4

注：大腸の悪性新生物は、結腸の悪性新生物と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物を示す。

**図8 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口10万対）の年次推移**





## 4 婚姻

平成22年の婚姻件数は70万213組で、前年の70万7734組より7521組減少し、婚姻率（人口千対）は5.5で前年の5.6を下回った。

婚姻件数は昭和40年代後半には100万組を超え、婚姻率（人口千対）も10.0以上で、婚姻ブームを呈した。その後は組数・率とも低下傾向となり、昭和63年以降は増加に転じ、平成5年以降は増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移していたが、平成14年から4年連続で減少し、平成18年以降は増減をくりかえしていたが、平成22年は平成21年に引き続き減少した。（図9）

初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の構成割合を10年ごとにみると、ピーク時の年齢が上昇するとともに、その年齢が占める割合は低下し、高い年齢の割合が増加している。また、年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）をみると、前年に比べ20代では低下し、30代では上昇している。（表9、図10）

平成22年の平均初婚年齢は、夫30.5歳、妻28.8歳で、夫は前年より0.1歳、妻は前年より0.2歳上昇している。これを都道府県別にみると、平均初婚年齢が最も低いのは、夫は、宮崎県で29.5歳、妻は福島県で27.9歳であり、最も高いのは夫・妻とも東京都で、夫31.8歳、妻29.9歳である。（表10-1、表10-2）

再婚の割合をみると、夫は18.5%で前年より0.2ポイント減少し、妻は16.2%で前年より0.2ポイント減少している。（表11）

図9 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

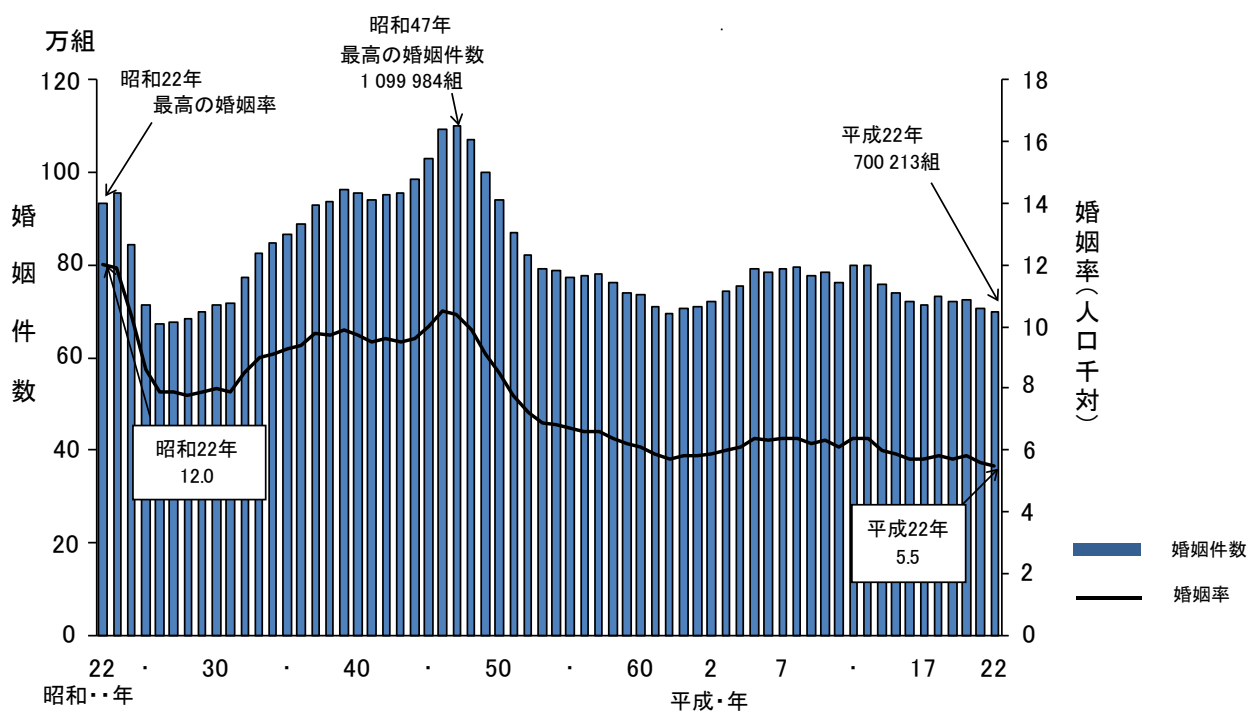
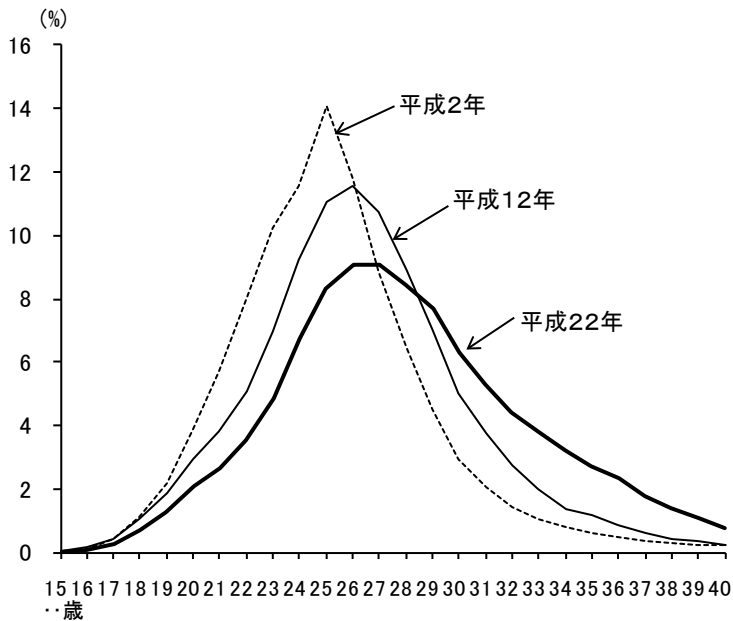


図10 初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の割合



注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表10-1 平均初婚年齢の年次推移

		夫	妻
		歳	歳
平成	5年	28.4	26.1
	10	28.6	26.7
	15	29.4	27.6
	20	30.2	28.5
	21	30.4	28.6
	22	30.5	28.8

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表10-2 都道府県別にみた平均初婚年齢（平成22年）

都道府県	夫	妻
	歳	歳
北海道	30.1	28.7
青森	29.9	28.1
岩手	30.1	28.2
宮城	30.1	28.4
秋田	30.2	28.4
山形	29.9	28.1
福島	29.7	27.9
茨城	30.4	28.5
栃木	30.4	28.5
群馬	30.3	28.6
埼玉	30.9	28.9
千葉	31.0	29.1
東京都	31.8	29.9
神奈川県	31.3	29.4
新潟	30.3	28.6
富山	30.6	28.7
石川	30.5	28.7
福井	30.2	28.4
山梨	30.8	29.0
長野	30.9	29.0
岐阜	30.1	28.2
静岡県	30.4	28.5
愛知県	30.3	28.4
三重	30.0	28.2
滋賀	30.0	28.3
京都	30.9	29.2
大阪	30.5	28.9
兵庫県	30.3	28.7
奈良	30.4	28.9
和歌山	29.7	28.2
鳥取	30.0	28.4
島根	30.0	28.4
岡山	30.0	28.3
広島	30.0	28.4
山口	29.9	28.2
徳島	29.6	28.3
香川	30.0	28.5
愛媛	29.8	28.3
高知	30.3	28.7
福岡	30.1	28.7
佐賀	29.6	28.2
長崎	29.7	28.3
熊本	29.7	28.3
大分	29.8	28.4
宮崎	29.5	28.3
鹿児島	29.7	28.2
沖縄	29.9	28.4

注：平成22年に結婚生活に入ったもの。

表9 年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）の年次推移

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
平成 5年	52.07	72.61	16.72	3.35
10	44.88	66.16	19.62	4.50
15	36.24	60.82	23.29	6.28
20	33.41	61.84	27.71	8.74
21	32.03	60.63	27.99	9.16
22	31.15	60.20	28.81	9.81

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表11 全婚姻件数に対する再婚件数の割合の年次推移

	夫	妻
	%	%
平成 5年	12.7	11.1
10	13.9	12.4
15	17.1	15.4
20	18.7	16.6
21	18.7	16.4
22	18.5	16.2

## 5 離婚

平成 22 年の離婚件数は 25 万 1383 組で、前年の 25 万 3353 組より 1970 組減少した。

離婚件数は昭和 39 年以降毎年増加し、昭和 46 年には 10 万組を超え、その後も増加を続けたが、昭和 58 年をピークに減少に転じ、平成 3 年から再び増加。平成 15 年からは 6 年連続で減少していたが、平成 21 年は増加、平成 22 年は再び減少した。(図 1 1)

離婚率 (人口千対) は 1.99 で、前年の 2.01 を下回った。(統計表第 2 表)

離婚件数を同居期間別にみると、3 年未満、5～10 年、25～35 年では減少しているが、それ以外の同居期間では増加している。(表 1 2、図 1 2)

図 1 1 離婚件数及び離婚率の年次推移

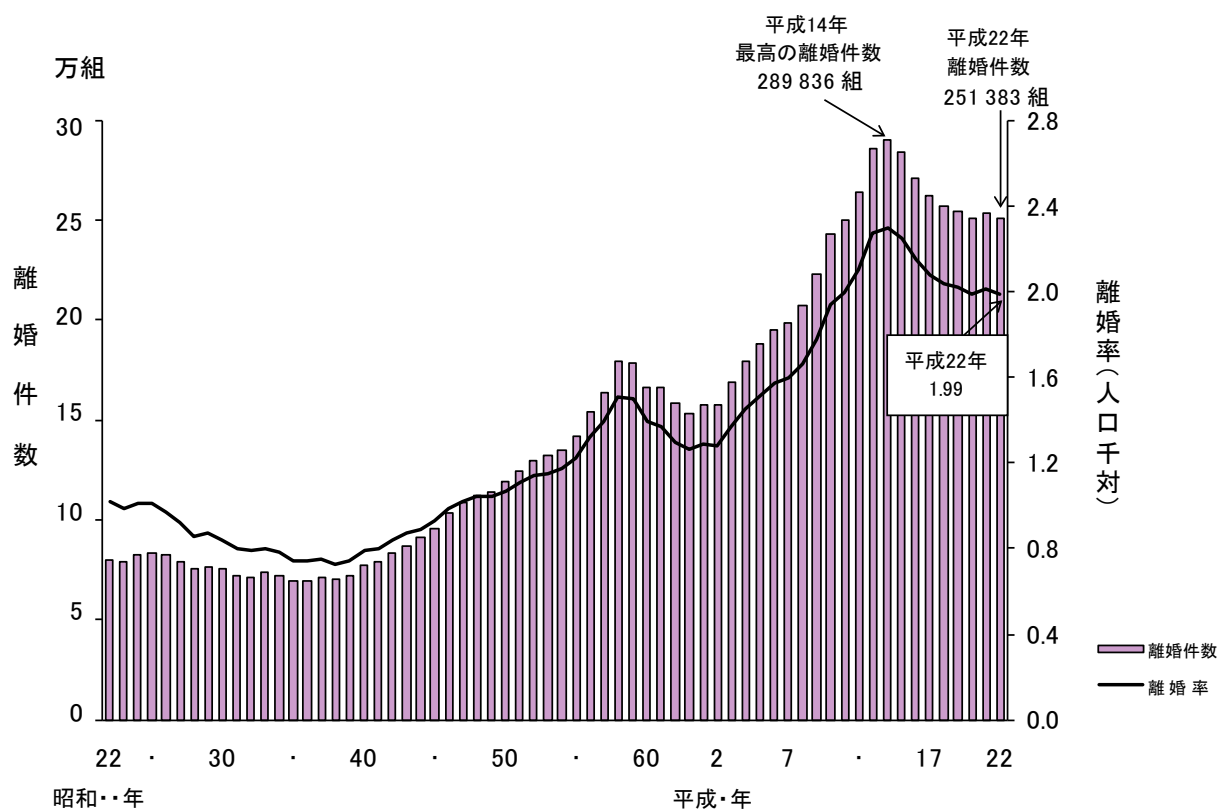
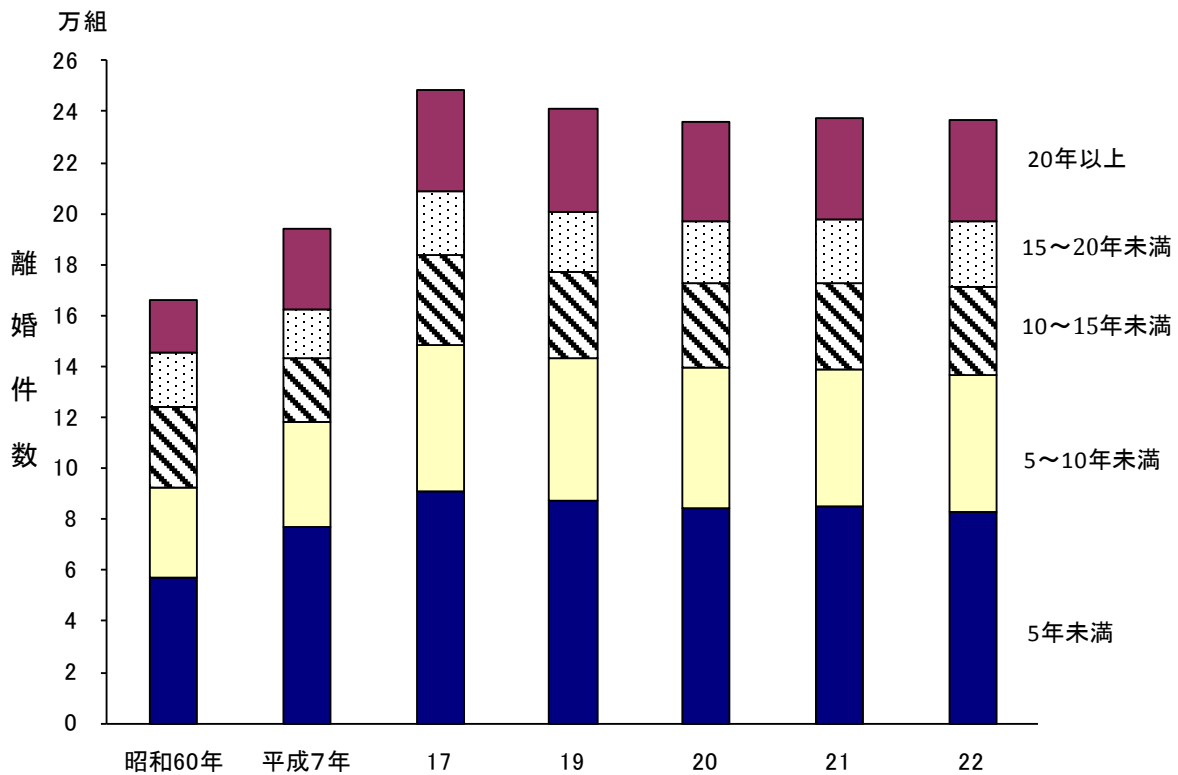


表 1 2 同居期間別離婚件数の年次推移

同居期間	昭和60年	平成7年	17	19	20	21	22	対前年(22年-21年)	
								増減数	増減率
総 数	166 640	199 016	261 917	254 832	251 136	253 353	251 383	△ 1 970	△ 0.8
5年未満	56 442	76 710	90 885	86 607	84 198	84 682	82 892	△ 1 790	△ 2.1
1年未満	12 656	14 893	16 558	17 206	16 668	16 584	15 697	△ 887	△ 5.3
1～2	12 817	18 081	20 159	19 617	19 115	19 480	18 796	△ 684	△ 3.5
2～3	11 710	16 591	19 435	18 162	17 999	18 250	17 735	△ 515	△ 2.8
3～4	10 434	14 576	18 144	16 572	15 812	16 187	16 194	7	0.0
4～5	8 825	12 569	16 589	15 050	14 604	14 181	14 470	289	2.0
5～10年未満	35 338	41 185	57 562	56 335	55 004	53 652	53 449	△ 203	△ 0.4
10～15年未満	32 310	25 308	35 093	33 693	33 606	34 180	34 863	683	2.0
15～20年未満	21 528	19 153	24 885	24 166	24 264	24 983	25 619	636	2.5
20年以上	20 434	31 877	40 395	40 353	38 920	40 096	40 085	△ 11	△ 0.0
20～25年未満	12 706	17 847	18 401	17 789	16 932	17 296	17 413	117	0.7
25～30	4 827	8 684	10 747	10 796	10 673	10 976	10 749	△ 227	△ 2.1
30～35	1 793	3 506	6 453	6 261	5 867	5 950	5 729	△ 221	△ 3.7
35年以上	1 108	1 840	4 794	5 507	5 448	5 874	6 194	320	5.4

注：総数には同居期間不詳を含む。

図 1 2 同居期間別離婚件数の年次推移





# 統計表

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-1)

年次		出生数	死亡数	(再掲) 乳児死亡数	新生児 死亡数	自然増減数
1899	明治 32年	1 386 981	932 087	213 359	108 077	454 894
1900	33	1 420 534	910 744	220 211	112 259	509 790
1901	34	1 501 591	925 810	225 107	115 794	575 781
1902	35	1 510 835	959 126	232 652	116 654	551 709
1903	36	1 489 816	931 008	226 982	112 909	558 808
1904	37	1 440 371	955 400	218 756	106 477	484 971
1905	38	1 452 770	1 004 661	220 450	103 382	448 109
1906	39	1 394 295	955 256	214 148	105 307	439 039
1907	40	1 614 472	1 016 798	244 300	118 617	597 674
1908	41	1 662 815	1 029 447	262 801	123 867	633 368
1909	42	1 693 850	1 091 264	283 436	129 629	602 586
1910	43	1 712 857	1 064 234	276 136	126 910	648 623
1911	44	1 747 803	1 043 906	276 798	127 302	703 897
1912	大正 元年	1 737 674	1 037 016	268 025	123 902	700 658
1913	2	1 757 441	1 027 257	267 281	124 213	730 184
1914	3	1 808 402	1 101 815	286 678	125 745	706 587
1915	4	1 799 326	1 093 793	288 634	125 337	705 533
1916	5	1 804 822	1 187 832	307 283	132 000	616 990
1917	6	1 812 413	1 199 669	313 872	139 717	612 744
1918	7	1 791 992	1 493 162	337 919	145 710	298 830
1919	8	1 778 685	1 281 965	303 202	129 072	496 720
1920	9	2 025 564	1 422 096	335 613	139 681	603 468
1921	10	1 990 876	1 288 570	335 143	136 342	702 306
1922	11	1 969 314	1 286 941	327 604	132 856	682 373
1923	12	2 043 297	1 332 485	333 930	135 504	710 812
1924	13	1 998 520	1 254 946	312 267	126 385	743 574
1925	14	2 086 091	1 210 706	297 008	121 238	875 385
1926	昭和 元年	2 104 405	1 160 734	289 275	119 642	943 671
1927	2	2 060 737	1 214 323	292 084	116 240	846 414
1928	3	2 135 852	1 236 711	293 881	115 682	899 141
1929	4	2 077 026	1 261 228	295 178	115 009	815 798
1930	5	2 085 101	1 170 867	258 703	104 101	914 234
1931	6	2 102 784	1 240 891	276 584	108 812	861 893
1932	7	2 182 742	1 175 344	256 505	104 573	1 007 398
1933	8	2 121 253	1 193 987	257 251	102 887	927 266
1934	9	2 043 783	1 234 684	255 063	103 408	809 099
1935	10	2 190 704	1 161 936	233 706	97 994	1 028 768
1936	11	2 101 969	1 230 278	245 357	101 043	871 691
1937	12	2 180 734	1 207 899	230 701	95 465	972 835
1938	13	1 928 321	1 259 805	220 695	89 159	668 516
1939	14	1 901 573	1 268 760	202 018	84 204	632 813
1940	15	2 115 867	1 186 595	190 509	81 869	929 272
1941	16	2 277 283	1 149 559	191 420	77 829	1 127 724
1942	17	2 233 660	1 166 630	190 897	76 177	1 067 030
1943	18	2 253 535	1 213 811	195 219	76 588	1 039 724
1947	22	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
1948	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
1949	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
1951	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
1952	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
1953	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
1954	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089

注： \*印は概数である。

年 次		出 生 数	死 亡 数	( 再 掲 )		自然増減数
				乳児死亡数	新 生 児 死 亡 数	
1955	昭和 30 年	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
1956	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
1957	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
1958	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
1959	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
1961	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
1962	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
1963	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
1964	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
1965	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
1966	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
1967	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
1968	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
1969	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
1971	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
1972	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
1973	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
1974	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
1975	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
1976	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
1977	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
1978	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
1979	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
1981	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
1982	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
1983	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
1984	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
1985	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
1986	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
1987	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
1988	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
1989	平成 元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
1991	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
1992	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
1993	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
1994	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
1995	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
1996	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
1997	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
1998	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
1999	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
2001	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
2002	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
2003	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
2004	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
2005	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
2006	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
2007	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
2008	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251
2009	21	1 070 035	1 141 865	2 556	1 254	△ 71 830
2010	* 22	1 071 306	1 197 066	2 450	1 167	△ 125 760



# 第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-2)

(参考)

年次		死産数			周産期 死亡数 <sup>2)</sup>	婚姻件数	離婚件数	周産期 死亡数 <sup>3)</sup>
		総数	自然死産	人工死産				
1899	明治 32年	135 727	…	…	…	297 372	66 545	…
1900	33	137 987	…	…	…	346 528	63 828	…
1901	34	155 489	…	…	…	378 457	63 442	…
1902	35	157 708	…	…	…	394 165	64 139	…
1903	36	153 920	…	…	…	370 961	65 392	…
1904	37	147 058	…	…	…	398 930	63 913	…
1905	38	142 092	…	…	…	350 898	60 061	…
1906	39	149 731	…	…	…	352 857	65 398	…
1907	40	158 814	…	…	…	432 949	61 058	…
1908	41	162 676	…	…	…	461 254	60 226	…
1909	42	161 576	…	…	…	437 882	58 936	…
1910	43	157 392	…	…	…	441 222	59 432	…
1911	44	155 319	…	…	…	433 117	58 067	…
1912	大正 元年	147 545	…	…	…	430 422	59 143	…
1913	2	147 769	…	…	…	431 287	59 536	…
1914	3	145 692	…	…	…	452 932	59 992	…
1915	4	141 301	…	…	…	445 210	59 943	…
1916	5	139 998	…	…	…	433 680	60 254	…
1917	6	140 328	…	…	…	447 970	55 812	…
1918	7	142 507	…	…	…	500 580	56 474	…
1919	8	132 939	…	…	…	480 136	56 812	…
1920	9	144 038	…	…	…	546 207	55 511	…
1921	10	138 301	…	…	…	519 217	53 402	…
1922	11	132 244	…	…	…	515 916	53 053	…
1923	12	133 863	…	…	…	512 689	51 212	…
1924	13	125 839	…	…	…	513 130	51 770	…
1925	14	124 403	…	…	…	521 438	51 687	…
1926	昭和 元年	124 038	…	…	…	502 847	50 119	…
1927	2	116 922	…	…	…	487 850	50 626	…
1928	3	120 191	…	…	…	499 555	49 119	…
1929	4	116 971	…	…	…	497 410	51 222	…
1930	5	117 730	…	…	…	506 674	51 259	…
1931	6	116 509	…	…	…	496 574	50 609	…
1932	7	119 579	…	…	…	515 270	51 437	…
1933	8	114 138	…	…	…	486 058	49 282	…
1934	9	113 043	…	…	…	512 654	48 610	…
1935	10	115 593	…	…	…	556 730	48 528	…
1936	11	111 056	…	…	…	549 116	46 167	…
1937	12	111 485	…	…	…	674 500	46 500	…
1938	13	99 528	…	…	…	538 831	44 656	…
1939	14	98 349	…	…	…	554 321	45 970	…
1940	15	102 034	…	…	…	666 575	48 556	…
1941	16	103 400	…	…	…	791 625	49 424	…
1942	17	95 448	…	…	…	679 044	46 268	…
1943	18	92 889	…	…	…	743 842	49 705	…
1947	22	123 837	…	…	…	934 170	79 551	…
1948	23	1) 143 963	* 104 325	* 31 055	…	953 999	79 032	…
1949	24	1) 192 677	* 114 161	* 75 585	…	842 170	82 575	…
1950	25	216 974	106 594	110 380	…	715 081	83 689	108 843
1951	26	217 231	101 237	115 994	…	671 905	82 331	99 865
1952	27	203 824	94 508	109 316	…	676 995	79 021	91 527
1953	28	193 274	89 751	103 523	…	682 077	75 255	85 932
1954	29	187 119	87 201	99 918	…	697 809	76 759	79 776

注： \*印は概数である。

- 1) 昭和23年、24年の死産には自然・人工死産の不詳を含む。
- 2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
- 3) 妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

(参考)

年 次		死 産 数			2) 周産期 死亡数	婚姻件数	離婚件数	3) 周産期 死亡数
		総 数	自然死産	人工死産				
1955	昭和 30 年	183 265	85 159	98 106	…	714 861	75 267	75 918
1956	31	179 007	86 558	92 449	…	715 934	72 040	75 706
1957	32	176 353	86 895	89 458	…	773 362	71 651	70 502
1958	33	185 148	92 282	92 866	…	826 902	74 004	72 625
1959	34	181 893	92 688	89 205	…	847 135	72 455	69 912
1960	35	179 281	93 424	85 857	…	866 115	69 410	66 552
1961	36	179 895	96 032	83 863	…	890 158	69 323	65 063
1962	37	177 363	97 256	80 107	…	928 341	71 394	62 650
1963	38	175 424	97 711	77 713	…	937 516	69 996	60 049
1964	39	168 046	97 357	70 689	…	963 130	72 306	56 827
1965	40	161 617	94 476	67 141	…	954 852	77 195	54 904
1966	41	148 248	83 253	64 995	…	940 120	79 432	42 583
1967	42	149 389	90 938	58 451	…	953 096	83 478	50 846
1968	43	143 259	87 381	55 878	…	956 312	87 327	45 921
1969	44	139 211	85 788	53 423	…	984 142	91 280	43 419
1970	45	135 095	84 073	51 022	…	1 029 405	95 937	41 917
1971	46	130 920	83 827	47 093	…	1 091 229	103 595	40 900
1972	47	125 154	81 741	43 413	…	1 099 984	108 382	38 754
1973	48	116 171	78 613	37 558	…	1 071 923	111 877	37 598
1974	49	109 738	74 618	35 120	…	1 000 455	113 622	34 383
1975	50	101 862	67 643	34 219	…	941 628	119 135	30 513
1976	51	101 930	64 046	37 884	…	871 543	124 512	27 133
1977	52	95 247	60 330	34 917	…	821 029	129 485	24 708
1978	53	87 463	55 818	31 645	…	793 257	132 146	22 217
1979	54	82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481
1980	55	77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385
1981	56	79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531
1982	57	78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303
1983	58	71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035
1984	59	72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998
1985	60	69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470
1986	61	65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148
1987	62	63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317
1988	63	59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508
1989	平成 元年	55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450
1990	2	53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001
1991	3	50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544
1992	4	48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321
1993	5	45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989
1994	6	42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134
1995	7	39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526
1996	8	39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321
1997	9	39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974
1998	10	38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927
1999	11	38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665
2000	12	38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562
2001	13	37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238
2002	14	36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224
2003	15	35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995
2004	16	34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671
2005	17	31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492
2006	18	30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475	3 420
2007	19	29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832	3 306
2008	20	28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136	3 178
2009	21	27 005	12 214	14 791	4 519	707 734	253 353	3 096
2010	* 22	26 571	12 251	14 320	4 518	700 213	251 383	3 066

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移（2-1）

年次		出生率 (人口千対)	死亡率	乳児死亡率 (出生千対)	新生児死亡率	自然増減率 (人口千対)	死産率 <sup>1)</sup> (出産千対)	自然死産率	人工死産率
1899	明治 32年	32.0	21.5	153.8	77.9	10.5	89.1	...	...
1900	33	32.4	20.8	155.0	79.0	11.6	88.5	...	...
1901	34	33.9	20.9	149.9	77.1	13.0	93.8	...	...
1902	35	33.6	21.3	154.0	77.2	12.3	94.5	...	...
1903	36	32.7	20.4	152.4	75.8	12.3	93.6	...	...
1904	37	31.2	20.7	151.9	73.9	10.5	92.6	...	...
1905	38	31.2	21.6	151.7	71.2	9.6	89.1	...	...
1906	39	29.6	20.3	153.6	75.5	9.3	97.0	...	...
1907	40	34.0	21.4	151.3	73.5	12.6	89.6	...	...
1908	41	34.7	21.5	158.0	74.5	13.2	89.1	...	...
1909	42	34.9	22.5	167.3	76.5	12.4	87.1	...	...
1910	43	34.8	21.6	161.2	74.1	13.2	84.2	...	...
1911	44	35.1	20.9	158.4	72.8	14.1	81.6	...	...
1912	大正 元年	34.4	20.5	154.2	71.3	13.9	78.3	...	...
1913	2	34.3	20.0	152.1	70.7	14.2	77.6	...	...
1914	3	34.8	21.2	158.5	69.5	13.6	74.6	...	...
1915	4	34.1	20.7	160.4	69.7	13.4	72.8	...	...
1916	5	33.7	22.2	170.3	73.1	11.5	72.0	...	...
1917	6	33.5	22.2	173.2	77.1	11.3	71.9	...	...
1918	7	32.7	27.3	188.6	81.3	5.5	73.7	...	...
1919	8	32.3	23.3	170.5	72.6	9.0	69.5	...	...
1920	9	36.2	25.4	165.7	69.0	10.8	66.4	...	...
1921	10	35.1	22.7	168.3	68.5	12.4	65.0	...	...
1922	11	34.3	22.4	166.4	67.5	11.9	62.9	...	...
1923	12	35.2	22.9	163.4	66.3	12.2	61.5	...	...
1924	13	33.9	21.3	156.2	63.2	12.6	59.2	...	...
1925	14	34.9	20.3	142.4	58.1	14.7	56.3	...	...
1926	昭和 元年	34.6	19.1	137.5	56.9	15.5	55.7	...	...
1927	2	33.4	19.7	141.7	56.4	13.7	53.7	...	...
1928	3	34.1	19.8	137.6	54.2	14.4	53.3	...	...
1929	4	32.7	19.9	142.1	55.4	12.9	53.3	...	...
1930	5	32.4	18.2	124.1	49.9	14.2	53.4	...	...
1931	6	32.1	19.0	131.5	51.7	13.2	52.5	...	...
1932	7	32.9	17.7	117.5	47.9	15.2	51.9	...	...
1933	8	31.5	17.7	121.3	48.5	13.8	51.1	...	...
1934	9	29.9	18.1	124.8	50.6	11.8	52.4	...	...
1935	10	31.6	16.8	106.7	44.7	14.9	50.1	...	...
1936	11	30.0	17.5	116.7	48.1	12.4	50.2	...	...
1937	12	30.9	17.1	105.8	43.8	13.8	48.6	...	...
1938	13	27.2	17.7	114.4	46.2	9.4	49.1	...	...
1939	14	26.6	17.8	106.2	44.3	8.9	49.2	...	...
1940	15	29.4	16.5	90.0	38.7	12.9	46.0	...	...
1941	16	31.8	16.0	84.1	34.2	15.7	43.4	...	...
1942	17	30.9	16.1	85.5	34.1	14.7	41.0	...	...
1943	18	30.9	16.7	86.6	33.8	14.3	39.6	...	...
1947	22	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2	...	...
1948	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	* 36.9	* 10.9
1949	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	* 39.1	* 25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
1951	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
1952	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
1953	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
1954	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1

注： \*印は概数による率である。

1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

年 次		出 生 率	死 亡 率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率	人工死産率
		( 人 口 千 対 )		( 出 生 千 対 )		(人口千対)	( 出 産 千 対 )		
1955	昭和 30 年	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
1956	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
1957	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
1958	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
1959	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
1961	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
1962	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
1963	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
1964	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
1965	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
1966	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
1967	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
1968	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
1969	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
1971	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
1972	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
1973	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
1974	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
1975	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
1976	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
1977	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
1978	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
1979	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
1981	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
1982	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
1983	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
1984	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
1985	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
1986	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
1987	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
1988	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
1989	平成 元 年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
1991	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
1992	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
1993	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
1994	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
1995	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
1996	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
1997	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
1998	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
1999	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
2001	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
2002	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
2003	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
2004	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
2005	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
2006	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
2007	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
2008	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
2009	21	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6	24.6	11.1	13.5
2010	* 22	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0	24.2	11.2	13.0

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移（2-2）

（参考）

年次	周産期死亡率 (出産千対) <sup>2)</sup>	婚姻率 (人口千対)	離婚率	合計特殊出生率	年齢調整死亡率 (人口千対) <sup>3)</sup>		周産期死亡率 (出生千対) <sup>4)</sup>	
					男	女		
1899	明治 32 年	...	6.9	1.53	...	...	...	
1900	33	...	7.9	1.46	...	...	...	
1901	34	...	8.5	1.43	...	...	...	
1902	35	...	8.8	1.43	...	...	...	
1903	36	...	8.1	1.44	...	...	...	
1904	37	...	8.6	1.39	...	...	...	
1905	38	...	7.5	1.29	...	...	...	
1906	39	...	7.5	1.39	...	...	...	
1907	40	...	9.1	1.29	...	...	...	
1908	41	...	9.6	1.26	...	...	...	
1909	42	...	9.0	1.21	...	...	...	
1910	43	...	9.0	1.21	...	...	...	
1911	44	...	8.7	1.16	...	...	...	
1912	大正 元年	...	8.5	1.17	...	...	...	
1913	2	...	8.4	1.16	...	...	...	
1914	3	...	8.7	1.15	...	...	...	
1915	4	...	8.4	1.14	...	...	...	
1916	5	...	8.1	1.13	...	...	...	
1917	6	...	8.3	1.03	...	...	...	
1918	7	...	9.1	1.03	...	...	...	
1919	8	...	8.7	1.03	...	...	...	
1920	9	...	9.8	0.99	...	...	...	
1921	10	...	9.2	0.94	...	...	...	
1922	11	...	9.0	0.92	...	...	...	
1923	12	...	8.8	0.88	...	...	...	
1924	13	...	8.7	0.88	...	...	...	
1925	14	...	8.7	0.87	...	...	...	
1926	昭和 元年	...	8.3	0.83	...	...	...	
1927	2	...	7.9	0.82	...	...	...	
1928	3	...	8.0	0.78	...	...	...	
1929	4	...	7.8	0.81	...	...	...	
1930	5	...	7.9	0.80	...	...	...	
1931	6	...	7.6	0.77	...	...	...	
1932	7	...	7.8	0.77	...	...	...	
1933	8	...	7.2	0.73	...	...	...	
1934	9	...	7.5	0.71	...	...	...	
1935	10	...	8.0	0.70	...	...	...	
1936	11	...	7.8	0.66	...	...	...	
1937	12	...	9.5	0.66	...	...	...	
1938	13	...	7.6	0.63	...	...	...	
1939	14	...	7.8	0.64	...	...	...	
1940	15	...	9.3	0.68	...	...	...	
1941	16	...	11.0	0.69	...	...	...	
1942	17	...	9.4	0.64	...	...	...	
1943	18	...	10.2	0.68	...	...	...	
1947	22	...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...
1948	23	...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...
1949	24	...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...
1950	25	...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6
1951	26	...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7
1952	27	...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6
1953	28	...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0
1954	29	...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1

注：\*印は概数による率である。

- 2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。
- 3) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。
- 4) 妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除している。

(参考)

年 次		周産期 死亡率 <sup>2)</sup> (出産千対)	婚姻率 (人 口 千 対)	離婚率	合計特殊 出生率	年齢調整死亡率 <sup>3)</sup> (人 口 千 対)		周産期 死亡率 <sup>4)</sup> (出生千対)
						男	女	
1955	昭和 30 年	...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9
1956	31	...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5
1957	32	...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0
1958	33	...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9
1959	34	...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0
1960	35	...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4
1961	36	...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9
1962	37	...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7
1963	38	...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2
1964	39	...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1
1965	40	...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1
1966	41	...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3
1967	42	...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3
1968	43	...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5
1969	44	...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0
1970	45	...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7
1971	46	...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4
1972	47	...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0
1973	48	...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0
1974	49	...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9
1975	50	...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0
1976	51	...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8
1977	52	...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1
1978	53	...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0
1979	54	21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5
1980	55	20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7
1981	56	19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8
1982	57	18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1
1983	58	16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3
1984	59	16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7
1985	60	15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0
1986	61	14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3
1987	62	13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9
1988	63	12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5
1989	平成 元年	12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0
1990	2	11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7
1991	3	8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3
1992	4	8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2
1993	5	7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0
1994	6	7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0
1995	7	7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7
1996	8	6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4
1997	9	6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2
1998	10	6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1
1999	11	6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0
2000	12	5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8
2001	13	5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6
2002	14	5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7
2003	15	5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6
2004	16	5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3
2005	17	4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3
2006	18	4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1
2007	19	4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0
2008	20	4.3	5.8	1.99	1.37	5.6	2.8	2.9
2009	21	4.2	5.6	2.01	1.37	5.4	2.7	2.9
2010	* 22	4.2	5.5	1.99	1.39	...	...	2.9

第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和60年	平成7年	17	19	20	21	*22
総数	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 089 818	1 091 156	1 070 035	1 071 306
～14歳	23	37	42	39	38	67	51
15～19	17 854	16 075	16 531	15 211	15 427	14 620	13 494
20～24	247 341	193 514	128 135	126 180	124 691	116 808	110 956
25～29	682 885	492 714	339 328	324 041	317 753	307 765	306 913
30～34	381 466	371 773	404 700	412 611	404 771	389 793	384 382
35～39	93 501	100 053	153 440	186 568	200 328	209 706	220 103
40～44	8 224	12 472	19 750	24 553	27 522	30 566	34 610
45～49	244	414	564	590	594	684	773
50歳以上	1	-	34	19	24	20	19

注：\*印は概数である。

1)総数には母の年齢不詳を含む。

第4表 出生数の年次推移，出生順位別

出生順位	昭和60年	平成7年	17	19	20	21	*22
総数	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 089 818	1 091 156	1 070 035	1 071 306
第1子	602 005	567 530	512 412	519 767	517 724	512 742	509 738
第2子	562 920	428 394	399 307	403 656	402 152	390 073	390 210
第3子以上	266 652	191 140	150 811	166 395	171 280	167 220	171 358

注：\*印は概数である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

総数（3-1）

年 齢	昭和60年	平成7年	17	19	20	21	* 22
総数 <sup>1)</sup>	625.5	741.9	858.8	879.0	907.1	907.5	947.3
0～4歳	145.3	118.3	73.9	70.8	70.1	65.0	62.9
5～9	21.1	19.0	11.1	9.5	9.7	9.5	8.7
10～14	16.5	15.9	9.8	9.0	8.7	8.3	9.4
15～19	47.2	39.6	27.6	25.8	26.7	24.4	23.7
20～24	57.1	52.1	46.9	43.4	43.3	44.3	42.3
25～29	60.9	53.4	51.5	48.2	49.1	49.0	47.6
30～34	74.5	64.4	62.0	59.1	60.1	58.7	59.7
35～39	104.2	88.7	86.9	83.1	81.6	81.7	78.8
40～44	175.6	143.7	128.5	124.8	121.7	123.2	118.5
45～49	277.1	228.9	205.9	196.4	191.6	189.3	183.1
50～54	455.6	371.5	331.3	308.5	301.7	296.5	290.2
55～59	654.3	565.3	484.9	480.5	472.6	462.8	456.7
60～64	948.7	917.4	730.1	694.9	682.6	658.5	662.5
65～69	1 554.0	1 397.9	1 088.9	1 027.2	1 006.3	983.6	1 011.6
70～74	2 717.5	2 191.5	1 821.1	1 692.5	1 671.5	1 592.2	1 577.0
75～79	4 980.5	3 827.8	3 029.1	2 881.4	2 873.4	2 753.8	2 730.5
80～84	8 540.5	6 882.0	5 109.4	4 890.0	4 920.6	4 771.5	4 837.9
85～89	14 725.6	11 847.5	8 947.0	8 487.9	8 457.9	8 175.3	8 396.3
90～94 <sup>2)</sup>	23 364.8	21 468.2	15 167.7	14 583.4	14 782.9	14 466.5	14 528.2
95～99	…	…	23 894.8	22 685.8	22 724.2	21 730.4	22 639.3
100歳以上	…	…	37 771.1	33 365.7	33 748.8	31 143.8	30 724.6

注：\*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。



第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

男 (3-2)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	19	20	21	* 22
総 数 <sup>1)</sup>	690.6	822.9	949.4	963.7	991.0	992.9	1 029.2
0～4歳	158.8	129.0	80.6	75.6	73.5	70.9	67.9
5～9	26.6	22.6	13.5	10.5	10.8	10.1	9.2
10～14	19.9	18.8	11.8	10.7	10.9	9.3	11.6
15～19	69.8	55.4	36.4	34.2	34.1	32.3	30.6
20～24	81.4	73.1	62.4	57.9	58.2	59.5	58.6
25～29	80.7	73.3	70.1	63.5	64.9	63.7	65.2
30～34	93.3	81.7	80.5	78.1	77.3	76.3	77.1
35～39	131.9	113.5	113.1	107.6	104.0	104.6	100.1
40～44	227.7	183.8	169.3	164.4	157.8	160.1	152.9
45～49	371.7	295.2	275.6	259.1	251.4	248.1	239.3
50～54	624.6	498.6	448.1	411.5	404.9	400.6	386.2
55～59	906.7	784.7	675.9	669.7	658.7	649.8	636.5
60～64	1 314.9	1 311.6	1 046.2	996.9	977.6	945.6	945.9
65～69	2 159.4	2 002.8	1 559.7	1 476.4	1 455.4	1 425.0	1 466.7
70～74	3 707.7	3 154.7	2 637.3	2 439.3	2 398.1	2 294.4	2 265.4
75～79	6 581.0	5 461.1	4 401.7	4 176.2	4 169.7	4 002.0	3 940.0
80～84	10 799.1	9 484.5	7 328.5	7 010.0	7 040.1	6 855.8	6 969.5
85～89	18 136.2	15 648.6	12 638.9	11 905.8	11 856.9	11 423.9	11 662.1
90～94 <sup>2)</sup>	25 429.3	26 734.7	20 217.3	19 278.2	19 624.7	19 206.3	19 295.3
95～99	…	…	30 937.2	28 444.0	28 380.0	27 045.0	27 890.6
100歳以上	…	…	46 157.9	39 080.0	39 683.3	34 142.9	35 750.0

注：\*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

女 (3-3)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	19	20	21	* 22
総 数 <sup>1)</sup>	562.7	664.0	772.3	798.4	827.1	826.3	869.4
0～4歳	131.2	107.2	66.9	65.8	66.4	58.8	57.7
5～9	15.3	15.2	8.6	8.4	8.6	8.8	8.1
10～14	13.1	12.9	7.8	7.2	6.4	7.1	7.1
15～19	23.7	22.9	18.4	17.0	18.9	16.2	16.4
20～24	31.8	30.2	30.5	28.1	27.6	28.2	25.0
25～29	40.7	32.8	32.2	32.3	32.6	33.6	29.1
30～34	55.6	46.6	43.1	39.4	42.3	40.6	41.6
35～39	76.0	63.5	60.2	58.0	58.7	58.0	56.9
40～44	124.1	103.2	86.9	84.3	84.7	85.4	83.4
45～49	184.6	162.1	135.8	133.2	131.0	129.8	126.0
50～54	289.7	246.8	214.9	205.7	198.6	192.5	194.4
55～59	414.9	353.7	297.4	295.3	290.6	279.8	280.4
60～64	663.0	548.9	430.7	408.0	401.4	383.8	391.2
65～69	1 106.4	864.2	659.0	615.9	594.7	580.2	596.5
70～74	1 998.4	1 513.4	1 130.4	1 054.1	1 048.0	987.1	981.1
75～79	3 871.3	2 814.8	1 998.0	1 894.7	1 881.7	1 792.9	1 794.9
80～84	7 165.7	5 429.7	3 870.6	3 599.7	3 586.8	3 436.6	3 454.1
85～89	13 067.1	10 072.4	7 364.1	7 049.9	7 021.9	6 762.8	6 909.3
90～94 <sup>2)</sup>	22 490.8	19 574.7	13 480.3	13 055.3	13 193.7	12 925.5	12 991.4
95～99	…	…	22 176.4	21 314.8	21 279.2	20 465.1	21 390.0
100歳以上	…	…	36 310.6	32 413.3	32 731.4	30 631.7	29 904.1

注：\*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因簡単分類別

（4-1）

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成22年	平成21年	*平成22年	平成21年	*平成22年
	総 数	1 197 066	1 141 865	947.3	907.5	100.0
01000	感染症及び寄生虫症	25 743	25 051	20.4	19.9	2.2
01100	腸管感染症	2 314	2 108	1.8	1.7	0.2
01200	結 核	2 126	2 159	1.7	1.7	0.2
01201	呼吸器結核	1 878	1 935	1.5	1.5	0.2
01202	その他の結核	248	224	0.2	0.2	0.0
01300	敗 血 症	10 654	10 251	8.4	8.1	0.9
01400	ウイルス肝炎	5 610	5 666	4.4	4.5	0.5
01401	B型ウイルス肝炎	539	633	0.4	0.5	0.0
01402	C型ウイルス肝炎	4 751	4 725	3.8	3.8	0.4
01403	その他のウイルス肝炎	320	308	0.3	0.2	0.0
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病	61	61	0.0	0.0	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 978	4 806	3.9	3.8	0.4
02000	新 生 物	363 442	353 941	287.6	281.3	30.4
02100	悪性新生物	353 318	344 105	279.6	273.5	29.5
02101	口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物	6 796	6 546	5.4	5.2	0.6
02102	食道の悪性新生物	11 863	11 713	9.4	9.3	1.0
02103	胃の悪性新生物	50 113	50 017	39.7	39.8	4.2
02104	結腸の悪性新生物	30 032	28 692	23.8	22.8	2.5
02105	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	14 196	13 742	11.2	10.9	1.2
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	32 749	32 725	25.9	26.0	2.7
02107	胆のう及び その他の胆道の悪性新生物	17 576	17 599	13.9	14.0	1.5
02108	膵の悪性新生物	27 987	26 791	22.1	21.3	2.3
02109	喉頭の悪性新生物	1 002	982	0.8	0.8	0.1
02110	気管，気管支及び肺の悪性新生物	69 778	67 583	55.2	53.7	5.8
02111	皮膚の悪性新生物	1 404	1 315	1.1	1.0	0.1
02112	乳房の悪性新生物	12 544	12 008	9.9	9.5	1.0
02113	子宮の悪性新生物 <sup>1)</sup>	5 928	5 524	9.1	8.6	0.5
02114	卵巣の悪性新生物 <sup>1)</sup>	4 653	4 603	7.2	7.1	0.4
02115	前立腺の悪性新生物 <sup>2)</sup>	10 718	10 036	17.4	16.4	0.9
02116	膀胱の悪性新生物	6 800	6 625	5.4	5.3	0.6

注：\*印は概数である。

1) 女性人口10万に対する率である。

2) 男性人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成22年	平成21年	*平成22年	平成21年	*平成22年
02117	中枢神経系の悪性新生物	1 955	1 832	1.5	1.5	0.2
02118	悪性リンパ腫	10 166	9 857	8.0	7.8	0.8
02119	白血 病	8 076	7 896	6.4	6.3	0.7
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び 関連組織の悪性新生物	4 279	4 136	3.4	3.3	0.4
02121	その他の悪性新生物	24 703	23 883	19.5	19.0	2.1
02200	その他の新生物	10 124	9 836	8.0	7.8	0.8
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 581	2 645	2.0	2.1	0.2
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	7 543	7 191	6.0	5.7	0.6
03000	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	4 322	4 040	3.4	3.2	0.4
03100	貧 血	1 808	1 654	1.4	1.3	0.2
03200	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	2 514	2 386	2.0	1.9	0.2
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	21 638	20 571	17.1	16.3	1.8
04100	糖 尿 病	14 399	13 987	11.4	11.1	1.2
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	7 239	6 584	5.7	5.2	0.6
05000	精神及び行動の障害	8 034	7 085	6.4	5.6	0.7
05100	血管性及び詳細不明の認知症	6 442	5 635	5.1	4.5	0.5
05200	その他の精神及び行動の障害	1 592	1 450	1.3	1.2	0.1
06000	神経系の疾患	19 399	17 243	15.4	13.7	1.6
06100	髄 膜 炎	337	319	0.3	0.3	0.0
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	2 007	1 949	1.6	1.5	0.2
06300	パーキンソン病	5 132	4 580	4.1	3.6	0.4
06400	アルツハイマー病	4 163	3 460	3.3	2.7	0.3
06500	その他の神経系の疾患	7 760	6 935	6.1	5.5	0.6
07000	眼及び付属器の疾患	5	6	0.0	0.0	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	19	17	0.0	0.0	0.0
09000	循環器系の疾患	341 577	329 731	270.3	262.1	28.5
09100	高血圧性疾患	6 758	6 223	5.3	4.9	0.6
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 602	3 374	2.9	2.7	0.3
09102	その他の高血圧性疾患	3 156	2 849	2.5	2.3	0.3
09200	心疾患（高血圧性を除く）	189 192	180 745	149.7	143.7	15.8
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 415	2 298	1.9	1.8	0.2
09202	急性心筋梗塞	42 599	43 209	33.7	34.3	3.6
09203	その他の虚血性心疾患	34 517	32 272	27.3	25.6	2.9
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	9 118	8 371	7.2	6.7	0.8

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対）、死因簡単分類別

(4-3)

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成22年	平成21年	*平成22年	平成21年	
09205	心筋症	3 746	3 584	3.0	2.8	0.3
09206	不整脈及び伝導障害	25 110	23 214	19.9	18.5	2.1
09207	心不全	66 818	63 101	52.9	50.2	5.6
09208	その他の心疾患	4 869	4 696	3.9	3.7	0.4
09300	脳血管疾患	123 393	122 350	97.6	97.2	10.3
09301	くも膜下出血	13 582	13 923	10.7	11.1	1.1
09302	脳内出血	33 681	33 002	26.7	26.2	2.8
09303	脳梗塞	72 843	72 238	57.6	57.4	6.1
09304	その他の脳血管疾患	3 287	3 187	2.6	2.5	0.3
09400	大動脈瘤及び解離	15 182	13 904	12.0	11.1	1.3
09500	その他の循環器系疾患	7 052	6 509	5.6	5.2	0.6
10000	呼吸器系の疾患	187 435	175 028	148.3	139.1	15.7
10100	インフルエンザ	158	625	0.1	0.5	0.0
10200	肺炎	118 806	112 004	94.0	89.0	9.9
10300	急性気管支炎	580	596	0.5	0.5	0.0
10400	慢性閉塞性肺疾患	16 275	15 359	12.9	12.2	1.4
10500	喘息	2 062	2 139	1.6	1.7	0.2
10600	その他の呼吸器系の疾患	49 554	44 305	39.2	35.2	4.1
11000	消化器系の疾患	45 350	44 172	35.9	35.1	3.8
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 213	3 166	2.5	2.5	0.3
11200	ヘルニア及び腸閉塞	5 979	5 893	4.7	4.7	0.5
11300	肝疾患	16 180	15 969	12.8	12.7	1.4
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	8 586	8 662	6.8	6.9	0.7
11302	その他の肝疾患	7 594	7 307	6.0	5.8	0.6
11400	その他の消化器系の疾患	19 978	19 144	15.8	15.2	1.7
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1 312	1 154	1.0	0.9	0.1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5 569	5 195	4.4	4.1	0.5
14000	腎尿路生殖器系の疾患	32 820	31 012	26.0	24.6	2.7
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3 873	3 653	3.1	2.9	0.3
14200	腎不全	23 691	22 743	18.7	18.1	2.0
14201	急性腎不全	4 135	4 021	3.3	3.2	0.3
14202	慢性腎不全	14 348	13 613	11.4	10.8	1.2
14203	詳細不明の腎不全	5 208	5 109	4.1	4.1	0.4
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	5 256	4 616	4.2	3.7	0.4

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成22年	平成21年	*平成22年	平成21年	*平成22年
15000	妊娠, 分娩及び産じょく <sup>1)</sup>	48	61	0.1	0.1	0.0
16000	周産期に発生した病態	640	699	0.5	0.6	0.1
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	65	72	0.1	0.1	0.0
16200	出産外傷	2	2	0.0	0.0	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害 及び心血管障害	349	366	0.3	0.3	0.0
16400	周産期に特異的な感染症	57	54	0.0	0.0	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	86	99	0.1	0.1	0.0
16600	その他の周産期に発生した病態	81	106	0.1	0.1	0.0
17000	先天奇形, 変形及び染色体異常	2 189	2 070	1.7	1.6	0.2
17100	神経系の先天奇形	104	83	0.1	0.1	0.0
17200	循環器系の先天奇形	1 126	1 052	0.9	0.8	0.1
17201	心臓の先天奇形	857	738	0.7	0.6	0.1
17202	その他の循環器系の先天奇形	269	314	0.2	0.2	0.0
17300	消化器系の先天奇形	97	94	0.1	0.1	0.0
17400	その他の先天奇形及び変形	561	558	0.4	0.4	0.0
17500	染色体異常, 他に分類されないもの	301	283	0.2	0.2	0.0
18000	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査 所見で他に分類されないもの	61 801	51 191	48.9	40.7	5.2
18100	老 衰	45 323	38 670	35.9	30.7	3.8
18200	乳幼児突然死症候群	147	157	0.1	0.1	0.0
18300	その他の症状, 徴候及び異常臨床所見 ・異常検査所見で他に分類されないもの	16 331	12 364	12.9	9.8	1.4
20000	傷病及び死亡の外因	75 723	73 598	59.9	58.5	6.3
20100	不慮の事故	40 583	37 756	32.1	30.0	3.4
20101	交通事故	7 144	7 309	5.7	5.8	0.6
20102	転倒・転落	7 063	7 312	5.6	5.8	0.6
20103	不慮の溺死及び溺水	6 938	6 435	5.5	5.1	0.6
20104	不慮の窒息	9 727	9 401	7.7	7.5	0.8
20105	煙, 火及び火炎への曝露	1 371	1 364	1.1	1.1	0.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	832	978	0.7	0.8	0.1
20107	その他の不慮の事故	7 508	4 957	5.9	3.9	0.6
20200	自 殺	29 524	30 707	23.4	24.4	2.5
20300	他 殺	436	479	0.3	0.4	0.0
20400	その他の外因	5 180	4 656	4.1	3.7	0.4
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-

第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

総数 (3-1)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 <sup>3)</sup>	悪性新生物	353 318	279.6	心 疾 患	189 192	149.7	脳 血 管 疾 患	123 393	97.6
0歳 <sup>2)</sup>	先天奇形等	915	85.4	呼吸障害等	341	31.8	乳幼児突然死 症候群	140	13.1
1～4	先天奇形等	162	3.8	不慮の事故	150	3.5	悪性新生物	86	2.0
5～9	不慮の事故	125	2.3	悪性新生物	107	1.9	心 疾 患	26	0.5
10～14	不慮の事故	122	2.1	悪性新生物	116	2.0	自 殺	63	1.1
15～19	自 殺	451	7.5	不慮の事故	424	7.1	悪性新生物	150	2.5
20～24	自 殺	1 372	21.1	不慮の事故	552	8.5	悪性新生物	217	3.3
25～29	自 殺	1 628	22.6	不慮の事故	512	7.1	悪性新生物	371	5.1
30～34	自 殺	1 917	23.6	悪性新生物	759	9.4	不慮の事故	571	7.0
35～39	自 殺	2 343	24.5	悪性新生物	1 596	16.7	心 疾 患	752	7.8
40～44	悪性新生物	2 776	32.4	自 殺	2 321	27.1	心 疾 患	1 102	12.9
45～49	悪性新生物	4 728	59.6	自 殺	2 461	31.0	心 疾 患	1 729	21.8
50～54	悪性新生物	8 686	114.5	心 疾 患	2 631	34.7	自 殺	2 613	34.4
55～59	悪性新生物	17 811	206.8	心 疾 患	4 660	54.1	脳 血 管 疾 患	3 183	37.0
60～64	悪性新生物	31 912	319.9	心 疾 患	8 047	80.7	脳 血 管 疾 患	5 172	51.8
65～69	悪性新生物	39 653	482.8	心 疾 患	10 216	124.4	脳 血 管 疾 患	6 612	80.5
70～74	悪性新生物	48 015	686.8	心 疾 患	14 230	203.5	脳 血 管 疾 患	9 733	139.2
75～79	悪性新生物	60 651	1 015.4	心 疾 患	23 399	391.7	脳 血 管 疾 患	16 410	274.7
80～84	悪性新生物	61 794	1 415.0	心 疾 患	33 922	776.8	肺 炎	24 018	550.0
85～89	悪性新生物	44 199	1 790.2	心 疾 患	37 893	1 534.8	肺 炎	28 869	1 169.3
90～94	心 疾 患	30 738	2 938.6	肺 炎	23 557	2 252.1	悪性新生物	21 805	2 084.6
95～99	心 疾 患	15 536	4 665.5	肺 炎	12 316	3 698.5	老 衰	12 161	3 652.0
100歳以上	老 衰	4 851	8 510.5	心 疾 患	3 353	5 882.5	肺 炎	2 824	4 954.4

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

# 年齢（5歳階級）別

平成22年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	118 806	94.0	老 衰	45 323	35.9	総 数 <sup>3)</sup>
不慮の事故	112	10.5	出血性障害等	85	7.9	0歳 <sup>2)</sup>
肺 炎	71	1.7	心 疾 患	57	1.3	1～4
先天奇形等	26	0.5	その他の新生物	24	0.4	5～9
心 疾 患	42	0.7	先天奇形等	23	0.4	10～14
心 疾 患	62	1.0	先天奇形等	30	0.5	15～19
心 疾 患	115	1.8	脳血管疾患	39	0.6	20～24
心 疾 患	195	2.7	脳血管疾患	92	1.3	25～29
心 疾 患	381	4.7	脳血管疾患	191	2.4	30～34
不慮の事故	665	6.9	脳血管疾患	465	4.9	35～39
脳血管疾患	840	9.8	不慮の事故	763	8.9	40～44
脳血管疾患	1 293	16.3	不慮の事故	869	11.0	45～49
脳血管疾患	1 945	25.6	不慮の事故	1 080	14.2	50～54
自 殺	2 936	34.1	不慮の事故	1 645	19.1	55～59
自 殺	3 121	31.3	不慮の事故	2 426	24.3	60～64
肺 炎	3 262	39.7	不慮の事故	2 970	36.2	65～69
肺 炎	6 529	93.4	不慮の事故	3 814	54.6	70～74
肺 炎	13 442	225.0	不慮の事故	5 510	92.2	75～79
脳血管疾患	23 725	543.3	不慮の事故	6 756	154.7	80～84
脳血管疾患	24 823	1 005.4	老 衰	8 980	363.7	85～89
脳血管疾患	18 668	1 784.7	老 衰	14 121	1 350.0	90～94
脳血管疾患	8 535	2 563.1	悪性新生物	6 992	2 099.7	95～99
脳血管疾患	1 587	2 784.2	悪性新生物	856	1 501.8	100歳以上



第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

男 (3-2)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 <sup>3)</sup>	悪性新生物	211 322	343.2	心 疾 患	88 695	144.0	肺 炎	63 518	103.2
0歳 <sup>2)</sup>	先天奇形等	489	88.8	呼吸障害等	193	35.0	乳幼児突然死候群	82	14.9
1～4	不慮の事故	100	4.5	先天奇形等	80	3.6	悪性新生物	49	2.2
5～9	不慮の事故	87	3.1	悪性新生物	55	1.9	心 疾 患	14	0.5
10～14	不慮の事故	94	3.1	悪性新生物	63	2.1	自 殺	42	1.4
15～19	不慮の事故	312	10.1	自 殺	301	9.8	悪性新生物	93	3.0
20～24	自 殺	1 014	30.3	不慮の事故	424	12.7	悪性新生物	134	4.0
25～29	自 殺	1 200	32.5	不慮の事故	394	10.7	悪性新生物	196	5.3
30～34	自 殺	1 340	32.5	不慮の事故	437	10.6	悪性新生物	321	7.8
35～39	自 殺	1 717	35.3	悪性新生物	623	12.8	心 疾 患	582	12.0
40～44	自 殺	1 753	40.4	悪性新生物	1 183	27.3	心 疾 患	864	19.9
45～49	悪性新生物	2 257	56.5	自 殺	1 859	46.5	心 疾 患	1 385	34.7
50～54	悪性新生物	4 676	123.4	心 疾 患	2 069	54.6	自 殺	2 009	53.0
55～59	悪性新生物	10 733	251.8	心 疾 患	3 709	87.0	脳血管疾患	2 335	54.8
60～64	悪性新生物	20 882	428.0	心 疾 患	6 266	128.4	脳血管疾患	3 629	74.4
65～69	悪性新生物	26 922	687.1	心 疾 患	7 458	190.4	脳血管疾患	4 537	115.8
70～74	悪性新生物	32 410	999.4	心 疾 患	9 407	290.1	脳血管疾患	6 454	199.0
75～79	悪性新生物	39 899	1 531.0	心 疾 患	13 546	519.8	脳血管疾患	10 066	386.3
80～84	悪性新生物	37 828	2 200.6	心 疾 患	16 888	982.4	肺 炎	15 405	896.2
85～89	悪性新生物	21 981	2 851.0	肺 炎	14 732	1 910.8	心 疾 患	13 794	1 789.1
90～94	肺 炎	9 398	3 685.5	悪性新生物	8 560	3 356.9	心 疾 患	8 408	3 297.3
95～99	肺 炎	3 770	5 890.6	心 疾 患	3 104	4 850.0	悪性新生物	2 211	3 454.7
100歳以上	老 衰	605	7 562.5	肺 炎	600	7 500.0	心 疾 患	491	6 137.5

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

# 年齢（5歳階級）別

平成22年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
脳血管疾患	60 151	97.7	不慮の事故	23 914	38.8	総数 <sup>3)</sup>
不慮の事故	66	12.0	出血性障害等	43	7.8	0歳 <sup>2)</sup>
肺炎	38	1.7	心疾患	31	1.4	1～4
先天奇形等	13	0.5	その他の新生物	11	0.4	5～9
心疾患	28	0.9	[その他の新生物] [先天奇形等]	13	0.4	10～14
心疾患	41	1.3	先天奇形等	19	0.6	15～19
心疾患	83	2.5	先天奇形等	23	0.7	20～24
心疾患	162	4.4	脳血管疾患	66	1.8	25～29
心疾患	297	7.2	脳血管疾患	136	3.3	30～34
不慮の事故	493	10.1	脳血管疾患	317	6.5	35～39
脳血管疾患	610	14.1	不慮の事故	572	13.2	40～44
脳血管疾患	873	21.8	不慮の事故	693	17.3	45～49
脳血管疾患	1 295	34.2	肝疾患	856	22.6	50～54
自殺	2 304	54.0	不慮の事故	1 279	30.0	55～59
自殺	2 327	47.7	不慮の事故	1 778	36.4	60～64
肺炎	2 468	63.0	不慮の事故	2 060	52.6	65～69
肺炎	4 769	147.1	不慮の事故	2 461	75.9	70～74
肺炎	9 439	362.2	不慮の事故	3 301	126.7	75～79
脳血管疾患	12 718	739.8	不慮の事故	3 823	222.4	80～84
脳血管疾患	9 809	1 272.2	慢性閉塞性肺疾患	2 962	384.2	85～89
脳血管疾患	5 310	2 082.4	老 衰	3 188	1 250.2	90～94
老 衰	2 125	3 320.3	脳血管疾患	1 696	2 650.0	95～99
脳血管疾患	231	2 887.5	悪性新生物	219	2 737.5	100歳以上

第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

女 (3-3)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 <sup>3)</sup>	悪性新生物	141 996	219.1	心 疾 患	100 497	155.1	脳血管疾患	63 242	97.6
0歳 <sup>2)</sup>	先天奇形等	426	81.8	呼吸障害等	148	28.4	乳幼児突然死症候群	58	11.1
1～4	先天奇形等	82	3.9	不慮の事故	50	2.4	悪性新生物	37	1.8
5～9	悪性新生物	52	1.9	不慮の事故	38	1.4	その他の新生物	13	0.5
10～14	悪性新生物	53	1.8	不慮の事故	28	1.0	自 殺	21	0.7
15～19	自 殺	150	5.1	不慮の事故	112	3.8	悪性新生物	57	1.9
20～24	自 殺	358	11.3	不慮の事故	128	4.0	悪性新生物	83	2.6
25～29	自 殺	428	12.2	悪性新生物	175	5.0	不慮の事故	118	3.4
30～34	自 殺	577	14.5	悪性新生物	438	11.0	不慮の事故	134	3.4
35～39	悪性新生物	973	20.6	自 殺	626	13.3	不慮の事故	172	3.6
40～44	悪性新生物	1 593	37.6	自 殺	568	13.4	心 疾 患	238	5.6
45～49	悪性新生物	2 471	62.7	自 殺	602	15.3	脳血管疾患	420	10.7
50～54	悪性新生物	4 010	105.7	脳血管疾患	650	17.1	自 殺	604	15.9
55～59	悪性新生物	7 078	162.8	心 疾 患	951	21.9	脳血管疾患	848	19.5
60～64	悪性新生物	11 030	216.4	心 疾 患	1 781	34.9	脳血管疾患	1 543	30.3
65～69	悪性新生物	12 731	296.4	心 疾 患	2 758	64.2	脳血管疾患	2 075	48.3
70～74	悪性新生物	15 605	416.2	心 疾 患	4 823	128.6	脳血管疾患	3 279	87.5
75～79	悪性新生物	20 752	616.5	心 疾 患	9 853	292.7	脳血管疾患	6 344	188.5
80～84	悪性新生物	23 966	905.1	心 疾 患	17 034	643.3	脳血管疾患	11 007	415.7
85～89	心 疾 患	24 099	1 418.4	悪性新生物	22 218	1 307.7	脳血管疾患	15 014	883.7
90～94	心 疾 患	22 330	2 823.0	肺 炎	14 159	1 790.0	脳血管疾患	13 358	1 688.7
95～99	心 疾 患	12 432	4 621.6	老 衰	10 036	3 730.9	肺 炎	8 546	3 177.0
100歳以上	老 衰	4 246	8 665.3	心 疾 患	2 862	5 840.8	肺 炎	2 224	4 538.8

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

# 年齢（5歳階級）別

平成22年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	55 288	85.3	老 衰	34 536	53.3	総 数 <sup>3)</sup>
不慮の事故	46	8.8	出血性障害等	42	8.1	0歳 <sup>2)</sup>
肺 炎	33	1.6	心 疾 患	26	1.2	1～4
肺 炎	13	0.5	先 天 奇 形 等	13	0.5	5～9
心 疾 患	14	0.5	先 天 奇 形 等	10	0.3	10～14
心 疾 患	21	0.7	先 天 奇 形 等	11	0.4	15～19
心 疾 患	32	1.0	脳 血 管 疾 患	18	0.6	20～24
心 疾 患	33	0.9	脳 血 管 疾 患	26	0.7	25～29
心 疾 患	84	2.1	脳 血 管 疾 患	55	1.4	30～34
心 疾 患	170	3.6	脳 血 管 疾 患	148	3.1	35～39
脳 血 管 疾 患	230	5.4	不慮の事故	191	4.5	40～44
心 疾 患	344	8.7	不慮の事故	176	4.5	45～49
心 疾 患	562	14.8	不慮の事故	242	6.4	50～54
自 殺	632	14.5	不慮の事故	366	8.4	55～59
自 殺	794	15.6	不慮の事故	648	12.7	60～64
不慮の事故	910	21.2	肺 炎	794	18.5	65～69
肺 炎	1 760	46.9	不慮の事故	1 353	36.1	70～74
肺 炎	4 003	118.9	不慮の事故	2 209	65.6	75～79
肺 炎	8 613	325.3	不慮の事故	2 933	110.8	80～84
肺 炎	14 137	832.1	老 衰	6 413	377.5	85～89
悪 性 新 生 物	13 245	1 674.5	老 衰	10 933	1 382.2	90～94
脳 血 管 疾 患	6 839	2 542.4	悪 性 新 生 物	4 781	1 777.3	95～99
脳 血 管 疾 患	1 356	2 767.3	悪 性 新 生 物	637	1 300.0	100歳以上

第8表 人口動態総覧，都道府県（20大都市再掲）別

都道府県 <sup>1)</sup>	出生数			死亡数			(再掲)			新生児 死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 071 306	550 743	520 563	1 197 066	633 724	563 342	2 450	1 355	1 095	1 167
北 海 道	40 155	20 516	19 639	55 406	29 846	25 560	84	49	35	41
青 森 県	9 711	4 949	4 762	16 031	8 553	7 478	21	13	8	12
岩 手 県	9 752	4 942	4 810	15 774	8 200	7 574	26	13	13	16
宮 城 県	19 126	9 810	9 316	21 931	11 576	10 355	47	23	24	18
秋 田 県	6 688	3 450	3 238	14 289	7 488	6 801	15	7	8	6
山 形 県	8 652	4 478	4 174	14 079	7 241	6 838	25	9	16	12
福 島 県	16 126	8 371	7 755	22 748	11 903	10 845	49	31	18	19
茨 城 県	23 989	12 326	11 663	28 615	15 255	13 360	60	37	23	37
栃 木 県	16 473	8 516	7 957	19 712	10 407	9 305	34	20	14	15
群 馬 県	16 023	8 258	7 765	20 385	10 633	9 752	35	18	17	18
埼 玉 県	59 436	30 805	28 631	55 482	30 704	24 778	133	73	60	62
千 葉 県	51 633	26 687	24 946	50 014	27 318	22 696	117	73	44	58
東 京 都	108 135	55 421	52 714	104 229	56 435	47 794	212	114	98	95
神 奈 川 県	78 076	39 873	38 203	67 766	37 476	30 290	203	107	96	104
新 潟 県	18 083	9 246	8 837	26 618	13 839	12 779	31	21	10	13
富 山 県	8 188	4 279	3 909	11 874	6 155	5 719	25	10	15	11
石 川 県	9 602	4 944	4 658	11 607	6 030	5 577	30	18	12	17
福 井 県	6 874	3 538	3 336	8 417	4 282	4 135	15	8	7	8
山 梨 県	6 651	3 416	3 235	9 268	4 872	4 396	7	4	3	2
長 野 県	17 233	8 796	8 437	23 132	11 789	11 343	25	16	9	14
岐 阜 県	16 887	8 753	8 134	20 220	10 603	9 617	41	28	13	21
静 岡 県	31 897	16 345	15 552	36 420	19 072	17 348	68	29	39	34
愛 知 県	69 870	36 066	33 804	58 472	31 911	26 561	153	92	61	79
三 重 県	15 262	7 865	7 397	18 691	9 674	9 017	37	25	12	14
滋 賀 県	13 363	6 897	6 466	11 602	5 982	5 620	39	21	18	22
京 都 府	21 234	10 996	10 238	23 715	12 039	11 676	52	29	23	28
大 阪 府	75 080	38 441	36 639	76 581	41 654	34 927	161	92	69	77
兵 庫 県	47 834	24 664	23 170	51 566	27 054	24 512	105	50	55	39
奈 良 県	10 695	5 532	5 163	13 036	6 817	6 219	24	17	7	8
和 歌 山 県	7 587	3 858	3 729	12 049	6 185	5 864	16	5	11	10
鳥 取 県	4 790	2 463	2 327	6 947	3 503	3 444	24	8	16	12
島 根 県	5 756	2 928	2 828	9 109	4 621	4 488	13	10	3	7
岡 山 県	16 759	8 644	8 115	20 248	10 455	9 793	29	20	9	14
広 島 県	25 546	13 086	12 460	27 562	14 385	13 177	64	34	30	28
山 口 県	11 551	5 864	5 687	17 646	9 007	8 639	31	18	13	17
徳 島 県	5 904	3 042	2 862	9 307	4 773	4 534	16	7	9	7
香 川 県	8 397	4 354	4 043	11 064	5 686	5 378	22	9	13	10
愛 媛 県	11 427	5 879	5 548	16 344	8 443	7 901	19	12	7	9
高 知 県	5 518	2 858	2 660	9 770	4 944	4 826	15	6	9	6
福 岡 県	46 818	24 211	22 607	46 994	24 228	22 766	105	62	43	55
佐 賀 県	7 640	3 943	3 697	9 212	4 701	4 511	18	9	9	8
長 崎 県	12 002	6 166	5 836	16 303	8 291	8 012	38	22	16	17
熊 本 県	16 247	8 305	7 942	19 217	9 672	9 545	42	24	18	19
大 分 県	10 072	5 106	4 966	12 988	6 622	6 366	27	14	13	13
宮 崎 県	10 217	5 242	4 975	12 335	6 279	6 056	14	7	7	4
鹿 児 島 県	15 124	7 779	7 345	20 294	10 152	10 142	34	15	19	15
沖 縄 県	17 098	8 771	8 327	10 159	5 417	4 742	46	24	22	13
外 国	125	64	61	177	130	47	1	1	-	1
不 詳	.	.	.	1 661	1 422	239	2	1	1	2
(再掲)										
東京都区部	73 741	37 822	35 919	72 060	39 137	32 923	136	73	63	59
札幌市	14 739	7 561	7 178	15 483	8 321	7 162	26	16	10	15
仙台市	9 295	4 716	4 579	7 371	3 925	3 446	25	13	12	12
さいたま市	11 131	5 734	5 397	8 644	4 803	3 841	31	20	11	14
千葉市	8 087	4 177	3 910	7 008	3 956	3 052	22	16	6	15
横浜市	32 052	16 325	15 727	27 305	15 288	12 017	72	38	34	37
川崎市	14 292	7 399	6 893	9 273	5 258	4 015	41	22	19	20
相模原市 <sup>2)</sup>	4 597	2 347	2 250	3 502	1 967	1 535	13	5	8	6
新潟市	6 531	3 287	3 244	7 604	4 020	3 584	8	6	2	3
静岡市	5 794	2 985	2 809	7 058	3 775	3 283	7	5	2	3
浜松市	7 209	3 782	3 427	7 033	3 617	3 416	16	5	11	6
名古屋市	20 125	10 403	9 722	19 011	10 432	8 579	34	18	16	20
京都市	11 556	5 973	5 583	13 013	6 578	6 435	28	18	10	16
大阪市	23 061	11 778	11 283	25 953	14 466	11 487	59	31	28	33
堺市	7 504	3 862	3 642	7 347	3 947	3 400	14	10	4	7
神戸市	12 665	6 518	6 147	14 048	7 376	6 672	31	20	11	14
岡山市	6 752	3 399	3 353	6 088	3 227	2 861	10	6	4	5
広島市	11 478	5 843	5 635	9 103	4 809	4 294	29	14	15	15
北九州市	8 302	4 301	4 001	10 082	5 246	4 836	16	9	7	7
福岡市	14 483	7 462	7 021	10 129	5 282	4 847	36	20	16	24

注：1) 都道府県別の表章は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

2) 相模原市は、平成22年4月1日から政令指定都市となったため4月分からの累計である。

自然増減数	死産数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数	都道府県 <sup>1)</sup>
	総数	自然死産	人工死産	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡			
△ 125 760	26 571	12 251	14 320	4 518	3 640	878	700 213	251 383	全 国
△ 15 251	1 258	511	747	170	137	33	28 389	12 596	北 海 道
△ 6 320	283	142	141	38	29	9	5 924	2 679	青 森 県
△ 6 022	291	133	158	59	53	6	5 724	2 327	岩 手 県
△ 2 805	495	211	284	72	61	11	11 972	4 668	宮 城 県
△ 7 601	182	102	80	44	39	5	4 281	1 795	秋 田 県
△ 5 427	231	117	114	35	27	8	5 159	1 887	山 形 県
△ 6 622	487	217	270	75	62	13	9 582	3 965	福 島 県
△ 4 626	600	261	339	112	84	28	15 044	5 693	茨 城 県
△ 3 239	398	170	228	63	54	9	10 615	3 898	栃 木 県
△ 4 362	399	193	206	71	56	15	9 679	3 865	群 馬 県
3 954	1 378	691	687	253	206	47	39 160	14 325	埼 玉 県
1 619	1 239	628	611	213	169	44	34 785	12 391	千 葉 県
3 906	2 589	1 144	1 445	424	352	72	91 196	26 337	東 京 都
10 310	1 667	872	795	379	298	81	54 203	17 830	神 奈 川 県
△ 8 535	474	232	242	85	75	10	11 018	3 438	新 潟 県
△ 3 686	188	105	83	34	27	7	4 928	1 569	富 山 県
△ 2 005	213	122	91	54	41	13	5 829	1 817	石 川 県
△ 1 543	159	72	87	20	14	6	3 705	1 233	福 井 県
△ 2 617	161	68	93	29	29	-	4 221	1 693	山 梨 県
△ 5 899	395	181	214	62	48	14	10 318	3 636	長 野 県
△ 3 333	382	172	210	65	48	17	10 087	3 395	岐 阜 県
△ 4 523	716	378	338	134	107	27	20 323	7 241	静 岡 県
11 398	1 404	666	738	281	224	57	45 039	14 253	愛 知 県
△ 3 429	335	182	153	67	57	10	9 396	3 461	三 重 県
1 761	286	162	124	77	60	17	7 691	2 466	滋 賀 県
△ 2 481	482	207	275	97	72	25	13 664	4 964	京 都 府
△ 1 501	1 911	827	1 084	304	246	58	51 242	20 753	大 阪 府
△ 3 732	1 070	511	559	175	147	28	29 752	10 738	兵 庫 県
△ 2 341	275	139	136	42	35	7	6 595	2 602	奈 良 県
△ 4 462	176	78	98	34	26	8	4 771	2 078	和 歌 山 県
△ 2 157	138	67	71	29	19	10	2 834	1 141	鳥 取 県
△ 3 353	143	67	76	23	17	6	3 283	1 110	島 根 県
△ 3 489	418	163	255	59	48	11	9 894	3 626	岡 山 県
△ 2 016	555	254	301	100	78	22	15 402	5 472	広 島 県
△ 6 095	265	127	138	46	32	14	6 966	2 531	山 口 県
△ 3 403	152	73	79	26	22	4	3 573	1 445	徳 島 県
△ 2 667	206	125	81	37	29	8	4 975	1 928	香 川 県
△ 4 917	341	112	229	39	33	6	6 922	2 811	愛 媛 県
△ 4 252	166	65	101	20	15	5	3 328	1 463	高 知 県
△ 176	1 366	583	783	200	160	40	29 247	10 952	福 岡 県
△ 1 572	233	103	130	35	28	7	4 210	1 536	佐 賀 県
△ 4 301	362	173	189	53	41	12	6 647	2 514	長 崎 県
△ 2 970	430	172	258	56	41	15	9 098	3 624	熊 本 県
△ 2 916	312	128	184	52	42	10	6 076	2 314	大 分 県
△ 2 118	316	103	213	31	29	2	5 892	2 415	宮 崎 県
△ 5 170	467	178	289	67	54	13	8 682	3 328	鹿 児 島 県
6 939	560	258	302	70	65	5	8 892	3 580	沖 縄 県
△ 52	12	3	9	2	1	1	.	.	外 国
.	5	3	2	5	3	2	.	.	不 詳
1 681	1 828	805	1 023	282	238	44	68 035	18 870	(再 掲) 東 京 都 区 部
△ 744	443	171	272	60	49	11	11 522	4 727	札 幌 市
1 924	211	83	128	27	20	7	6 323	2 124	仙 台 市
2 487	263	144	119	52	42	10	7 286	2 257	さい たま 市
1 079	192	111	81	40	26	14	5 459	2 007	千 葉 市
4 747	664	368	296	149	117	32	22 305	7 076	横 浜 市
5 019	263	148	115	63	52	11	10 828	2 851	川 崎 市
1 095	95	46	49	23	18	5	3 107	1 146	相 模 原 市 <sup>2)</sup>
△ 1 073	174	75	99	28	25	3	4 173	1 294	新 潟 市
△ 1 264	144	65	79	19	16	3	3 891	1 354	静 岡 市
176	146	87	59	28	23	5	4 532	1 457	浜 松 市
1 114	459	194	265	91	76	15	14 523	4 878	名 古 屋 市
△ 1 457	252	102	150	53	40	13	8 141	2 904	京 都 市
△ 2 892	609	261	348	105	78	27	18 762	7 218	大 阪 市
157	169	57	112	26	20	6	4 784	1 888	堺 市
△ 1 383	295	138	157	46	38	8	8 395	3 126	神 戸 市
664	151	60	91	26	21	5	4 071	1 348	岡 山 市
2 375	234	104	130	46	34	12	6 953	2 351	広 島 市
△ 1 780	274	105	169	30	27	3	5 429	2 146	北 九 州 市
4 354	410	172	238	67	48	19	10 198	3 229	福 岡 市

第9表 人口動態総覧（率），都道府県（20大都市再掲）別

都道府県	出生率 (人口千対)	死亡率	乳児死亡率 (出生千対)	新生児死亡率	自然増減率 (人口千対)
全国	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0
北海道	7.3	10.1	2.1	1.0	△ 2.8
青森	7.1	11.7	2.2	1.2	△ 4.6
岩手	7.4	11.9	2.7	1.6	△ 4.5
宮城	8.2	9.4	2.5	0.9	△ 1.2
秋田	6.2	13.2	2.2	0.9	△ 7.0
山形	7.4	12.1	2.9	1.4	△ 4.7
福島	8.0	11.3	3.0	1.2	△ 3.3
茨城	8.2	9.8	2.5	1.5	△ 1.6
栃木	8.3	10.0	2.1	0.9	△ 1.6
群馬	8.1	10.3	2.2	1.1	△ 2.2
埼玉	8.4	7.8	2.2	1.0	0.6
千葉	8.4	8.2	2.3	1.1	0.3
東京都	8.4	8.1	2.0	0.9	0.3
神奈川県	8.8	7.6	2.6	1.3	1.2
新潟	7.6	11.3	1.7	0.7	△ 3.6
富山	7.6	11.0	3.1	1.3	△ 3.4
石川	8.3	10.0	3.1	1.8	△ 1.7
福井	8.6	10.6	2.2	1.2	△ 1.9
山梨	7.8	10.9	1.1	0.3	△ 3.1
長野	8.1	10.9	1.5	0.8	△ 2.8
岐阜	8.3	9.9	2.4	1.2	△ 1.6
静岡県	8.7	9.9	2.1	1.1	△ 1.2
愛知	9.7	8.1	2.2	1.1	1.6
三重	8.4	10.3	2.4	0.9	△ 1.9
滋賀	9.6	8.4	2.9	1.6	1.3
京都	8.2	9.1	2.4	1.3	△ 1.0
大阪	8.6	8.8	2.1	1.0	△ 0.2
兵庫県	8.7	9.4	2.2	0.8	△ 0.7
奈良	7.7	9.4	2.2	0.7	△ 1.7
和歌山	7.6	12.1	2.1	1.3	△ 4.5
鳥取	8.2	11.9	5.0	2.5	△ 3.7
島根	8.1	12.8	2.3	1.2	△ 4.7
岡山	8.7	10.5	1.7	0.8	△ 1.8
広島	9.0	9.7	2.5	1.1	△ 0.7
山口	8.0	12.3	2.7	1.5	△ 4.2
徳島	7.5	11.9	2.7	1.2	△ 4.4
香川	8.5	11.2	2.6	1.2	△ 2.7
愛媛	8.0	11.5	1.7	0.8	△ 3.5
高知	7.2	12.8	2.7	1.1	△ 5.6
福岡	9.3	9.3	2.2	1.2	△ 0.0
佐賀	9.0	10.9	2.4	1.0	△ 1.9
長崎	8.5	11.5	3.2	1.4	△ 3.0
熊本	9.0	10.6	2.6	1.2	△ 1.6
大分	8.5	10.9	2.7	1.3	△ 2.5
宮崎	9.0	10.9	1.4	0.4	△ 1.9
鹿児島	8.9	11.9	2.2	1.0	△ 3.0
沖縄	12.3	7.3	2.7	0.8	5.0
(再掲)					
東京都区部	8.2	8.1	1.8	0.8	0.2
札幌市	7.7	8.1	1.8	1.0	△ 0.4
仙台市	8.9	7.0	2.7	1.3	1.8
さいたま市	9.1	7.1	2.8	1.3	2.0
千葉市	8.4	7.3	2.7	1.9	1.1
横浜市	8.7	7.4	2.2	1.2	1.3
川崎市	10.0	6.5	2.9	1.4	3.5
相模原市 <sup>3)</sup>	…	…	…	…	…
新潟市	8.0	9.4	1.2	0.5	△ 1.3
静岡市	8.1	9.9	1.2	0.5	△ 1.8
浜松市	9.0	8.8	2.2	0.8	0.2
名古屋市	8.9	8.4	1.7	1.0	0.5
京都市	7.8	8.8	2.4	1.4	△ 1.0
大阪市	8.7	9.7	2.6	1.4	△ 1.1
堺市	8.9	8.7	1.9	0.9	0.2
神戸市	8.2	9.1	2.4	1.1	△ 0.9
岡山市	9.5	8.6	1.5	0.7	0.9
広島市	9.8	7.8	2.5	1.3	2.0
北九州市	8.5	10.3	1.9	0.8	△ 1.8
福岡市	9.9	6.9	2.5	1.7	3.0

注：1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。  
 2) 周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。  
 3) 相模原市は、平成22年4月1日から政令指定都市になったため率は算出してない。

死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率 ( 出 産 千 対 )	人工死産率	周産期死亡率 <sup>2)</sup> (出産千対)	婚 姻 率 ( 人 口 千 対 )	離 婚 率	都 道 府 県
24.2	11.2	13.0	4.2	5.5	1.99	全 国
30.4	12.3	18.0	4.2	5.2	2.29	北 海 道
28.3	14.2	14.1	3.9	4.3	1.96	青 森 県
29.0	13.2	15.7	6.0	4.3	1.75	岩 手 県
25.2	10.8	14.5	3.8	5.1	2.00	宮 城 県
26.5	14.8	11.6	6.5	4.0	1.66	秋 田 県
26.0	13.2	12.8	4.0	4.4	1.62	山 形 県
29.3	13.1	16.3	4.6	4.7	1.96	福 島 県
24.4	10.6	13.8	4.7	5.1	1.94	茨 城 県
23.6	10.1	13.5	3.8	5.4	1.97	栃 木 県
24.3	11.8	12.5	4.4	4.9	1.96	群 馬 県
22.7	11.4	11.3	4.2	5.5	2.02	埼 玉 県
23.4	11.9	11.6	4.1	5.7	2.02	千 葉 県
23.4	10.3	13.1	3.9	7.1	2.05	東 京 都
20.9	10.9	10.0	4.8	6.1	2.00	神 奈 川 県
25.5	12.5	13.0	4.7	4.7	1.45	新 潟 県
22.4	12.5	9.9	4.1	4.6	1.45	富 山 県
21.7	12.4	9.3	5.6	5.0	1.57	石 川 県
22.6	10.2	12.4	2.9	4.6	1.55	福 井 県
23.6	10.0	13.7	4.3	5.0	1.99	山 梨 県
22.4	10.3	12.1	3.6	4.9	1.71	山 長 野 県
22.1	10.0	12.2	3.8	5.0	1.67	岐 阜 県
22.0	11.6	10.4	4.2	5.5	1.96	静 岡 県
19.7	9.3	10.4	4.0	6.2	1.97	愛 知 県
21.5	11.7	9.8	4.4	5.2	1.91	三 重 県
21.0	11.9	9.1	5.7	5.5	1.78	滋 賀 県
22.2	9.5	12.7	4.6	5.3	1.91	京 都 都 府
24.8	10.7	14.1	4.0	5.9	2.38	大 阪 府
21.9	10.4	11.4	3.6	5.4	1.95	兵 庫 県
25.1	12.7	12.4	3.9	4.7	1.87	奈 良 県
22.7	10.0	12.6	4.5	4.8	2.08	和 歌 山 県
28.0	13.6	14.4	6.0	4.8	1.95	鳥 取 県
24.2	11.4	12.9	4.0	4.6	1.56	島 根 県
24.3	9.5	14.8	3.5	5.1	1.88	岡 山 県
21.3	9.7	11.5	3.9	5.4	1.93	広 島 県
22.4	10.7	11.7	4.0	4.8	1.76	山 口 県
25.1	12.1	13.0	4.4	4.6	1.85	徳 島 県
23.9	14.5	9.4	4.4	5.0	1.95	香 川 県
29.0	9.5	19.5	3.4	4.9	1.97	愛 媛 県
29.2	11.4	17.8	3.6	4.4	1.92	高 知 県
28.3	12.1	16.3	4.3	5.8	2.18	福 岡 県
29.6	13.1	16.5	4.6	5.0	1.82	佐 賀 県
29.3	14.0	15.3	4.4	4.7	1.77	長 崎 県
25.8	10.3	15.5	3.4	5.0	2.00	熊 本 県
30.0	12.3	17.7	5.1	5.1	1.95	大 分 県
30.0	9.8	20.2	3.0	5.2	2.13	宮 崎 県
30.0	11.4	18.5	4.4	5.1	1.96	鹿 児 島 県
31.7	14.6	17.1	4.1	6.4	2.58	沖 縄 県
						(再 掲)
24.2	10.7	13.5	3.8	7.6	2.11	東 京 都 区 部
29.2	11.3	17.9	4.1	6.0	2.47	札 幌 市
22.2	8.7	13.5	2.9	6.0	2.03	仙 台 市
23.1	12.6	10.4	4.7	6.0	1.85	さい たま 市
23.2	13.4	9.8	4.9	5.7	2.09	千 葉 市
20.3	11.2	9.0	4.6	6.0	1.92	横 浜 市
18.1	10.2	7.9	4.4	7.6	2.00	川 崎 市
...	...	...	...	...	...	相 模 原 市 <sup>3)</sup>
26.0	11.2	14.8	4.3	5.1	1.59	新 潟 市
24.3	10.9	13.3	3.3	5.4	1.89	静 岡 市
19.9	11.8	8.0	3.9	5.7	1.82	浜 松 市
22.3	9.4	12.9	4.5	6.4	2.15	名 古 屋 市
21.3	8.6	12.7	4.6	5.5	1.97	京 都 市
25.7	11.0	14.7	4.5	7.0	2.71	大 阪 市
22.0	7.4	14.6	3.5	5.7	2.24	堺 市
22.8	10.6	12.1	3.6	5.4	2.02	神 戸 市
21.9	8.7	13.2	3.8	5.7	1.90	岡 山 市
20.0	8.9	11.1	4.0	5.9	2.00	広 島 市
31.9	12.2	19.7	3.6	5.6	2.20	北 九 州 市
27.5	11.5	16.0	4.6	7.0	2.21	福 岡 市



第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対), 都道府県(20大都市再掲)別

都道府県	全死因		02100 悪性新生物		09200 心疾患		09300 脳血管疾患		10200 肺炎	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 国 <sup>1)</sup>	1 197 066	947.3	353 318	279.6	189 192	149.7	123 393	97.6	118 806	94.0
北海道	55 406	1 009.4	17 814	324.5	8 918	162.5	5 282	96.2	5 275	96.1
青森	16 031	1 170.1	4 782	349.1	2 635	192.3	1 883	137.4	1 631	119.1
岩手	15 774	1 189.6	4 323	326.0	2 687	202.6	2 127	160.4	1 562	117.8
宮城	21 931	938.8	6 369	272.6	3 300	141.3	2 829	121.1	1 937	82.9
秋田	14 289	1 319.4	4 085	377.2	2 284	210.9	1 722	159.0	1 548	142.9
山形	14 079	1 210.6	3 904	335.7	2 213	190.3	1 748	150.3	1 521	130.8
福島	22 748	1 126.1	6 172	305.5	3 992	197.6	2 765	136.9	2 181	108.0
茨城	28 615	977.3	8 056	275.1	4 394	150.1	3 340	114.1	2 977	101.7
栃木	19 712	996.6	5 439	275.0	3 330	168.4	2 391	120.9	2 036	102.9
群馬	20 385	1 033.2	5 666	287.2	3 085	156.4	2 256	114.3	2 358	119.5
埼玉	55 482	781.1	17 049	240.0	9 539	134.3	5 710	80.4	5 509	77.6
千葉	50 014	815.6	15 026	245.0	8 752	142.7	4 992	81.4	5 009	81.7
東京	104 229	810.0	32 071	249.2	16 202	125.9	10 375	80.6	9 592	74.5
神奈川	67 766	759.8	21 239	238.1	9 972	111.8	6 756	75.7	6 222	69.8
新潟	26 618	1 125.5	7 736	327.1	4 018	169.9	3 448	145.8	2 494	105.5
富山	11 874	1 099.4	3 397	314.5	1 657	153.4	1 386	128.3	1 252	115.9
石川	11 607	999.7	3 348	288.4	1 815	156.3	1 244	107.1	1 262	108.7
福井	8 417	1 056.1	2 362	296.4	1 430	179.4	839	105.3	968	121.5
山梨	9 268	1 090.4	2 450	288.2	1 478	173.9	985	115.9	861	101.3
長野	23 132	1 090.1	6 065	285.8	3 452	162.7	3 231	152.3	1 968	92.7
岐阜	20 220	992.6	5 619	275.8	3 327	163.3	2 090	102.6	1 921	94.3
静岡	36 420	988.3	10 257	278.3	5 461	148.2	4 141	112.4	3 172	86.1
愛知	58 472	809.9	17 805	246.6	8 639	119.7	5 673	78.6	5 184	71.8
三重	18 691	1 032.1	5 052	279.0	2 889	159.5	1 900	104.9	1 803	99.6
滋賀	11 602	837.1	3 446	248.6	1 884	135.9	1 111	80.2	1 093	78.9
京都	23 715	913.5	7 305	281.4	4 099	157.9	2 157	83.1	2 279	87.8
大阪	76 581	879.9	24 563	282.2	12 312	141.5	6 253	71.8	8 353	96.0
兵庫	51 566	935.7	15 846	287.5	7 959	144.4	4 697	85.2	4 916	89.2
奈良	13 036	936.5	4 046	290.7	2 430	174.6	1 145	82.3	1 385	99.5
和歌山	12 049	1 208.5	3 438	344.8	2 018	202.4	1 060	106.3	1 271	127.5
鳥取	6 947	1 187.5	2 012	343.9	1 100	188.0	798	136.4	578	98.8
島根	9 109	1 277.6	2 488	348.9	1 523	213.6	966	135.5	827	116.0
岡山	20 248	1 050.2	5 515	286.0	3 119	161.8	2 140	111.0	2 280	118.3
広島	27 562	973.9	8 033	283.9	4 682	165.4	2 536	89.6	2 806	99.2
山口	17 646	1 225.4	4 842	336.3	2 924	203.1	1 892	131.4	2 074	144.0
徳島	9 307	1 190.2	2 538	324.6	1 421	181.7	904	115.6	997	127.5
香川	11 064	1 118.7	3 108	314.3	1 903	192.4	985	99.6	942	95.2
愛媛	16 344	1 147.8	4 504	316.3	3 170	222.6	1 546	108.6	1 597	112.1
高知	9 770	1 282.2	2 590	339.9	1 681	220.6	1 138	149.3	1 114	146.2
福岡	46 994	933.9	14 759	293.3	5 788	115.0	4 314	85.7	5 070	100.8
佐賀	9 212	1 088.9	2 714	320.8	1 371	162.1	902	106.6	1 125	133.0
長崎	16 303	1 148.1	4 705	331.3	2 567	180.8	1 565	110.2	1 799	126.7
熊本	19 217	1 061.7	5 320	293.9	2 960	163.5	1 920	106.1	2 036	112.5
大分	12 988	1 092.3	3 635	305.7	1 952	164.2	1 380	116.1	1 369	115.1
宮崎	12 335	1 089.7	3 420	302.1	2 068	182.7	1 380	121.9	1 290	114.0
鹿児島	20 294	1 192.4	5 436	319.4	3 122	183.4	2 426	142.5	2 347	137.9
沖縄	10 159	733.5	2 745	198.2	1 460	105.4	917	66.2	906	65.4
外国	177	・	37	・	19	・	14	・	15	・
(再掲)										
東京都区部	72 060	805.2	22 218	248.3	11 181	124.9	7 022	78.5	6 330	70.7
札幌市	15 483	808.9	5 251	274.3	2 308	120.6	1 371	71.6	1 434	74.9
仙台市	7 371	704.7	2 291	219.0	1 026	98.1	878	83.9	591	56.5
さいたま市	8 644	706.8	2 584	211.3	1 558	127.4	899	73.5	818	66.9
千葉市	7 008	728.5	2 153	223.8	1 143	118.8	626	65.1	724	75.3
横浜市	27 305	740.0	8 715	236.2	4 002	108.5	2 583	70.0	2 521	68.3
川崎市	9 273	650.3	2 880	202.0	1 410	98.9	919	64.4	821	57.6
相模原市 <sup>2)</sup>	3 502	...	1 151	...	580	...	354	...	297	...
新潟市	7 604	936.5	2 448	301.5	1 164	143.3	867	106.8	726	89.4
静岡市	7 058	985.8	1 977	276.1	1 122	156.7	733	102.4	603	84.2
浜松市	7 033	878.0	1 965	245.3	938	117.1	841	105.0	612	76.4
名古屋市	19 011	839.7	5 869	259.2	2 797	123.5	1 793	79.2	1 741	76.9
京都市	13 013	882.8	4 100	278.2	2 265	153.7	1 128	76.5	1 254	85.1
大阪市	25 953	973.5	8 082	303.2	3 743	140.4	2 212	83.0	2 961	111.1
堺市	7 347	872.6	2 444	290.3	1 198	142.3	587	69.7	789	93.7
神戸市	14 048	909.3	4 507	291.7	2 003	129.6	1 121	72.6	1 268	82.1
岡山市	6 088	857.5	1 756	247.3	943	132.8	644	90.7	620	87.3
広島市	9 103	775.4	2 828	240.9	1 527	130.1	770	65.6	853	72.7
北九州市	10 082	1 031.9	3 284	336.1	1 356	138.8	905	92.6	1 003	102.7
福岡市	10 129	691.9	3 307	225.9	1 091	74.5	844	57.7	1 058	72.3

注：1)全国値には、住所地不詳を含む。

2)相模原市は平成22年4月1日から政令指定都市となったため、4月分からの累計である。なお、死亡率は算出してない。

18100 老 衰		20100 不慮の事故		20200 自 殺		14200 腎 不 全		10400 慢性閉塞性肺疾患		11300 肝 疾 患		都 道 府 県
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	
45 323	35.9	40 583	32.1	29 524	23.4	23 691	18.7	16 275	12.9	16 180	12.8	全 国 <sup>1)</sup>
1 274	23.2	1 666	30.4	1 392	25.4	1 453	26.5	692	12.6	616	11.2	北 海 道
609	44.5	552	40.3	403	29.4	374	27.3	159	11.6	206	15.0	青 森
600	45.2	564	42.5	427	32.2	329	24.8	183	13.8	166	12.5	岩 手
1 070	45.8	746	31.9	533	22.8	426	18.2	258	11.0	261	11.2	宮 城
470	43.4	566	52.3	358	33.1	313	28.9	136	12.6	143	13.2	秋 田
709	61.0	491	42.2	306	26.3	293	25.2	176	15.1	122	10.5	山 形
968	47.9	830	41.1	508	25.1	427	21.1	338	16.7	221	10.9	福 島
1 274	43.5	1 045	35.7	701	23.9	551	18.8	385	13.1	356	12.2	茨 城
832	42.1	658	33.3	495	25.0	350	17.7	268	13.5	262	13.2	栃 木
722	36.6	713	36.1	508	25.7	357	18.1	303	15.4	255	12.9	群 馬
1 571	22.1	1 631	23.0	1 639	23.1	1 065	15.0	638	9.0	842	11.9	埼 玉
1 843	30.1	1 572	25.6	1 329	21.7	876	14.3	576	9.4	640	10.4	千 葉
3 742	29.1	2 827	22.0	2 814	21.9	1 783	13.9	1 393	10.8	1 828	14.2	東 京
2 668	29.9	2 404	27.0	1 890	21.2	1 006	11.3	1 026	11.5	1 254	14.1	神 奈 川
1 240	52.4	1 045	44.2	674	28.5	448	18.9	297	12.6	253	10.7	新 潟
438	40.6	498	46.1	249	23.1	232	21.5	148	13.7	143	13.2	富 山
465	40.1	489	42.1	260	22.4	200	17.2	162	14.0	124	10.7	石 川
339	42.5	365	45.8	158	19.8	181	22.7	121	15.2	82	10.3	福 井
510	60.0	329	38.7	233	27.4	199	23.4	126	14.8	139	16.4	山 梨
1 372	64.7	856	40.3	501	23.6	389	18.3	366	17.2	255	12.0	長 野
1 081	53.1	803	39.4	425	20.9	418	20.5	256	12.6	251	12.3	岐 阜
2 220	60.2	1 223	33.2	853	23.1	753	20.4	498	13.5	365	9.9	静 岡
2 384	33.0	2 075	28.7	1 432	19.8	1 069	14.8	689	9.5	735	10.2	愛 知
1 136	62.7	770	42.5	351	19.4	369	20.4	284	15.7	205	11.3	三 重
403	29.1	406	29.3	308	22.2	290	20.9	169	12.2	143	10.3	滋 賀
783	30.2	620	23.9	582	22.4	550	21.2	324	12.5	260	10.0	京 都
1 688	19.4	2 240	25.7	2 091	24.0	1 645	18.9	1 078	12.4	1 432	16.5	大 阪
1 912	34.7	1 914	34.7	1 254	22.8	1 058	19.2	683	12.4	772	14.0	兵 庫
440	31.6	386	27.7	267	19.2	220	15.8	192	13.8	148	10.6	奈 良
637	63.9	393	39.4	249	25.0	257	25.8	194	19.5	137	13.7	和 歌 山
377	64.4	238	40.7	145	24.8	126	21.5	94	16.1	72	12.3	鳥 取
505	70.8	277	38.8	184	25.8	174	24.4	137	19.2	89	12.5	島 根
768	39.8	841	43.6	401	20.8	414	21.5	293	15.2	279	14.5	岡 山
1 127	39.8	1 043	36.9	607	21.4	615	21.7	369	13.0	346	12.2	広 島
665	46.2	520	36.1	349	24.2	398	27.6	263	18.3	211	14.7	山 口
463	59.2	345	44.1	152	19.4	239	30.6	161	20.6	157	20.1	徳 島
466	47.1	407	41.2	215	21.7	247	25.0	153	15.5	147	14.9	香 川
738	51.8	615	43.2	299	21.0	347	24.4	189	13.3	195	13.7	愛 媛
286	37.5	372	48.8	197	25.9	215	28.2	125	16.4	99	13.0	高 知
1 113	22.1	1 722	34.2	1 172	23.3	931	18.5	721	14.3	626	12.4	福 岡
273	32.3	327	38.7	220	26.0	141	16.7	155	18.3	118	13.9	佐 賀
578	40.7	534	37.6	368	25.9	336	23.7	214	15.1	213	15.0	長 崎
770	42.5	596	32.9	451	24.9	406	22.4	287	15.9	219	12.1	熊 本
465	39.1	495	41.6	265	22.3	314	26.4	207	17.4	134	11.3	大 分
401	35.4	423	37.4	307	27.1	247	21.8	206	18.2	155	13.7	宮 崎
657	38.6	731	42.9	413	24.3	469	27.6	321	18.9	248	14.6	鹿 児 島
266	19.2	296	21.4	354	25.6	178	12.9	249	18.0	215	15.5	沖 縄
-	・	6	・	9	・	-	・	1	・	3	・	外 国
2 483	27.7	2 060	23.0	1 981	22.1	1 231	13.8	1 017	11.4	1 351	15.1	(再 掲) 東 京 都 区 部
222	11.6	389	20.3	430	22.5	329	17.2	194	10.1	167	8.7	札 幌 市
329	31.5	224	21.4	191	18.3	135	12.9	87	8.3	102	9.8	仙 台 市
249	20.4	248	20.3	258	21.1	158	12.9	83	6.8	118	9.6	さいたま市
202	21.0	249	25.9	220	22.9	139	14.4	57	5.9	95	9.9	千 葉 市
1 078	29.2	984	26.7	788	21.4	396	10.7	402	10.9	558	15.1	横 浜 市
300	21.0	356	25.0	308	21.6	130	9.1	137	9.6	203	14.2	川 崎 市
93	...	104	...	103	...	47	...	59	...	57	...	相 模 原 市 <sup>2)</sup>
271	33.4	267	32.9	187	23.0	137	16.9	64	7.9	80	9.9	新 潟 市
404	56.4	233	32.5	151	21.1	139	19.4	99	13.8	89	12.4	静 岡 市
506	63.2	233	29.1	157	19.6	162	20.2	95	11.9	66	8.2	浜 松 市
628	27.7	612	27.0	446	19.7	345	15.2	227	10.0	224	9.9	名 古 屋 市
429	29.1	309	21.0	329	22.3	272	18.5	175	11.9	150	10.2	京 都 市
535	20.1	806	30.2	742	27.8	560	21.0	347	13.0	573	21.5	大 阪 市
164	19.5	233	27.7	204	24.2	140	16.6	113	13.4	126	15.0	堺 市
477	30.9	533	34.5	355	23.0	317	20.5	181	11.7	219	14.2	神 戸 市
204	28.7	248	34.9	138	19.4	108	15.2	76	10.7	91	12.8	岡 山 市
316	26.9	298	25.4	236	20.1	205	17.5	105	8.9	126	10.7	広 島 市
180	18.4	343	35.1	231	23.6	202	20.7	174	17.8	145	14.8	北 九 州 市
196	13.4	353	24.1	340	23.2	176	12.0	161	11.0	126	8.6	福 岡 市

## 合計特殊出生率について

### 1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

○ 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

#### A 「期間」合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

#### B 「コーホート」合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の出生率」である。

○ 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。

なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。

○ ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。

### 2. 平成22年における状況

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみて、5年ごとの出生率を合計し、算出した\*）。

例えば1971～1975年生まれ（平成22年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.38であるが、40歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、1.38に今後の40歳以上での出生率を加えた値となり、晩産化の進行により40歳以上の出生率が上昇傾向であることから、平成22年の期間合計特殊出生率（1.39）を上回る可能性が高い。

\*）各年の各年齢別出生率を合計したより精密なコーホート合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和55年 (1980)	60年 (1985)	平成2年 (1990)	7年 (1995)	12年 (2000)	17年 (2005)	平成22年 (2010)
母の年齢	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26	<b>1.39</b>
15～19歳	<b>0.0189</b>	0.0229	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253	<b>0.0231</b>
20～24	0.3855	<b>0.3173</b>	0.2357	0.2022	0.1965	0.1823	<b>0.1731</b>
25～29	0.9140	0.8897	<b>0.7031</b>	0.5880	0.4967	0.4228	<b>0.4352</b>
30～34	0.3529	0.4397	0.4663	<b>0.4677</b>	0.4620	0.4285	<b>0.4847</b>
35～39	0.0666	0.0846	0.1079	0.1311	<b>0.1572</b>	0.1761	<b>0.2339</b>
40～44	0.0083	0.0094	0.0113	0.0148	0.0194	<b>0.0242</b>	<b>0.0390</b>
45～49	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008	<b>0.0010</b>

② 各世代別(コホート)にみた母の年齢階級別出生率

	1961-1965	1966-1970	1971-1975	1976-1980	1981-1985	1986-1990	1991-1995
母の年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	<b>0.0189</b>	0.0229	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253	0.0231
20～24	<b>0.3173</b>	0.2357	0.2022	0.1965	0.1823	0.1731	
25～29	<b>0.7031</b>	0.5880	0.4967	0.4228	0.4352		
30～34	<b>0.4677</b>	0.4620	0.4285	0.4847			
35～39	<b>0.1572</b>	0.1761	0.2339				
40～44	<b>0.0242</b>	0.0390					
45～49	<b>0.0010</b>						
コホート 合計特殊出生率	<b>1.69</b>	<b>1.52</b>	<b>1.38</b>	<b>1.12</b>	<b>0.64</b>	<b>0.20</b>	<b>0.02</b>

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)

	1961-1965	1966-1970	1971-1975	1976-1980	1981-1985	1986-1990	1991-1995
母の年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	<b>0.02</b>
15～24	0.34	0.26	0.22	0.22	0.21	<b>0.20</b>	
15～29	1.04	0.85	0.72	0.64	<b>0.64</b>		
15～34	1.51	1.31	1.15	<b>1.12</b>			
15～39	1.66	1.48	<b>1.38</b>				
15～44	1.69	<b>1.52</b>					
15～49	<b>1.69</b>						

\*「15～19歳の世代」は、平成3～7年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和61年～平成2年生まれ、  
「25～29歳の世代」は、昭和56～60年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和51～55年生まれ、  
「35～39歳の世代」は、昭和46～50年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和41～45年生まれ、  
「45～49歳の世代」は、昭和36～40年生まれ。

### 3. 出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

○ 出生数は、次の式のように「女性人口（15～49歳）」と「(期間)合計特殊出生率」、  
「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」の3つの要素に分解できる。以下、この3要素を  
「女性人口」、「合計特殊出生率」、「年齢構成の違い」とする。

$$\text{出生数} = \text{女性人口 (15～49歳)} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^{1)}} \times \text{(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い}^{2)}$$

出生数がこのように3要素に分解できることから、出生数の動向は、「合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口」と「年齢構成の違い」の動向の影響を受ける。

平成21年	107万人	=	2,653万人	×	$\frac{1.37}{35}$	×	1.032
	↓ 0.1%		↓ △0.1%		↓ 1.6%		↓ △1.3%
平成22年	107.1万人	=	2,649万人	×	$\frac{1.39}{35}$	×	1.018

※平成21年の合計特殊出生率を用いると、平成22年の出生数は前年より△1.4%であったと見込まれる。

平成21年から平成22年の動向をみると、「女性人口」が減少し、「年齢構成の違い」が低下したものの、「合計特殊出生率」が上昇したことにより、出生数が微増したことが分かる。

同様に、昭和45年以降の3要素の動向をみると次頁の通りであるが、

- (1) 「女性人口」は平成9年から減少傾向にある。
- (2) 「合計特殊出生率」は、平成17年まで低下傾向で推移したが、平成18年に上昇傾向に転じた。
- (3) 「年齢構成の違い」は、昭和51年、平成3年、16年を境に増減を繰り返し、16年以降は低下傾向にある。

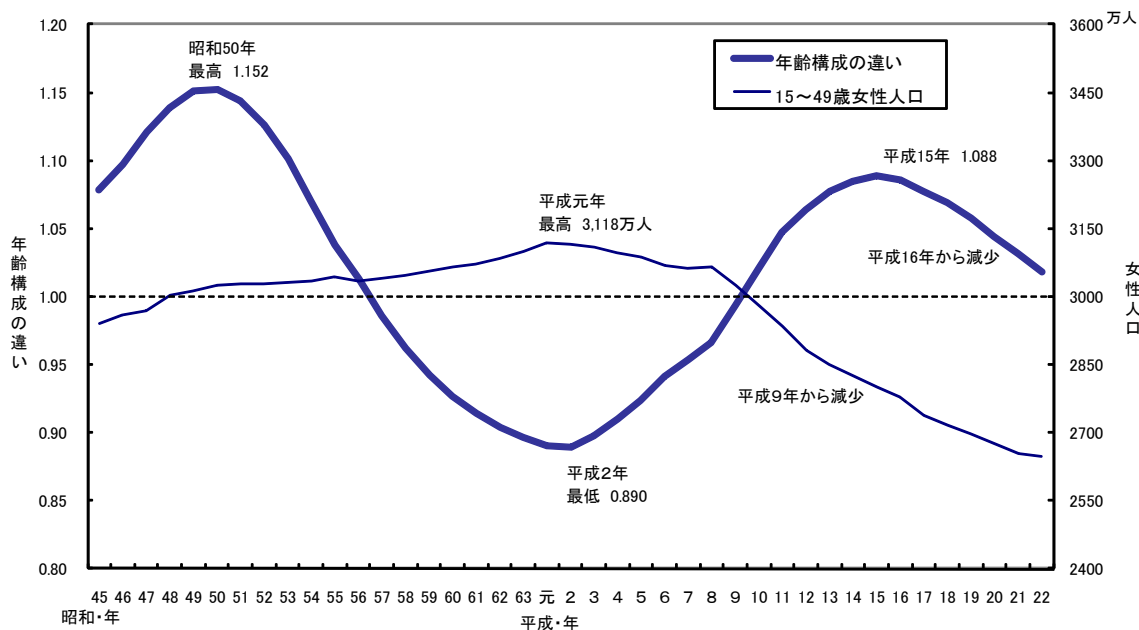
「女性人口」の減少傾向と「年齢構成の違い」の低下傾向は今後も続くことから、「合計特殊出生率」が変わらなければ、出生数は今後も減少することになる。

注：1) (期間)合計特殊出生率は15～49までの35歳の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口（15～49歳）を乗じて出生数となるように35で除している。

2) 「年齢構成の違い」は、「女性人口」×「合計特殊出生率」/35が「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に当該合計特殊出生率で見込まれる出生数」となることから、「実際の年齢構成がどの年齢の女性の人数も同じという年齢構成とどのくらい違うか表すもの」である。

「年齢構成の違い」は、出生率の高い年齢の女性の人数が出生率の低い年齢の女性の人数より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。

「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実 数				対前年増減率 (%)			
	出生数 ①×②/35×③	15～49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	15～49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③
昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079	...	...	...	...
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1
20	1 091 156	26 757	1.37	1.044	0.1	△ 0.8	2.2	△ 1.2
21	1 070 035	26 531	1.37	1.032	△ 1.9	△ 0.8	0.1	△ 1.2
22	1 071 306	26 492	1.39	1.018	0.1	△ 0.1	1.6	△ 1.3

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年  
 2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、平成16年  
 3) 「15～49歳女性人口」の転換年は平成9年

## 人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率 (人口千対)		死亡率 (人口千対)		乳児死亡率 (出生千対)		婚姻率 (人口千対)		離婚率 (人口千対)		合計特殊 出生率	
日本	'10)	8.5	'10)	9.5	'10)	2.3	'10)	5.5	'10)	1.99	'10)	1.39
韓国	'10)	9.4	'10)	5.1	…		'10)	6.5	'10)	2.3	'10)	1.22
シンガポール	'09)	9.9	'09)	4.3	'09)	2.2	'09)	6.6	'09)	2.0	'09)	1.22
アメリカ	'09)	*13.5	'09)	*7.9	'09)	*6.3	'09)	*6.8	'09)	*3.4	'09)	*2.01
フランス	'10)	*12.7	'10)	*8.5	'10)	*3.6	'10)	*3.9	'08)	2.08	'10)	*2.00
ドイツ	'08)	8.3	'08)	10.3	'07)	3.9	'08)	4.6	'08)	2.34	'08)	1.38
イタリア	'08)	9.6	'08)	*9.7	'08)	*3.6	'08)	*4.2	'07)	0.85	'08)	1.41
スウェーデン	'08)	11.9	'08)	9.9	'08)	2.5	'08)	5.5	'08)	2.32	'08)	1.91
イギリス	'07)	12.7	'06)	*9.4	'07)	4.8	'03)	5.1	'07)	*2.37	'07)	1.90

注：\*印は暫定値である。

資料：(1) 日本は、人口動態統計月報年計（概数）の概況

(2) 韓国は、韓国統計庁資料

(3) シンガポールは、シンガポール統計局資料

(4) アメリカは、NCHS, National Vital Statistics Reports

(5) フランスは、フランス国立統計経済研究所資料

(6) ヨーロッパの各国は、UN, Demographic Yearbook 2008

## 分母に用いた人口

### ① 年齢5歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
総数	126 371 000	61 576 000	64 794 000
0～4歳	5 375 000	2 758 000	2 617 000
5～9	5 537 000	2 836 000	2 701 000
10～14	5 906 000	3 027 000	2 879 000
15～19	6 000 000	3 075 000	2 925 000
20～24	6 513 000	3 350 000	3 163 000
25～29	7 218 000	3 696 000	3 522 000
30～34	8 110 000	4 124 000	3 986 000
35～39	9 582 000	4 862 000	4 720 000
40～44	8 573 000	4 335 000	4 238 000
45～49	7 936 000	3 997 000	3 939 000
50～54	7 586 000	3 790 000	3 795 000
55～59	8 611 000	4 263 000	4 348 000
60～64	9 976 000	4 879 000	5 097 000
65～69	8 213 000	3 918 000	4 295 000
70～74	6 991 000	3 243 000	3 749 000
75～79	5 973 000	2 606 000	3 366 000
80～84	4 367 000	1 719 000	2 648 000
85～89	2 469 000	771 000	1 699 000
90～94	1 046 000	255 000	791 000
95～99	333 000	64 000	269 000
100～	57 000	8 000	49 000

資料：「平成22年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

ただし、「85～89」、「90～94」、「95～99」及び「100～」については、総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健統計課で推計。

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総数	男	女
全 国	126 371 000	61 576 000	64 794 000
北海道	5 489 000	2 590 000	2 899 000
青森	1 370 000	643 000	727 000
岩手	1 326 000	633 000	693 000
宮城	2 336 000	1 133 000	1 203 000
秋田	1 083 000	509 000	574 000
山形	1 163 000	559 000	604 000
福島	2 020 000	981 000	1 038 000
茨城	2 928 000	1 458 000	1 470 000
栃木	1 978 000	984 000	994 000
群馬	1 973 000	970 000	1 003 000
埼玉	7 103 000	3 574 000	3 529 000
千葉	6 132 000	3 066 000	3 066 000
東京	12 868 000	6 400 000	6 468 000
神奈川	8 919 000	4 492 000	4 428 000
新潟	2 365 000	1 144 000	1 221 000
富山	1 080 000	521 000	560 000
石川	1 161 000	560 000	601 000
福井	797 000	386 000	411 000
山梨	850 000	416 000	434 000
長野	2 122 000	1 033 000	1 089 000
岐阜	2 037 000	987 000	1 050 000
静岡	3 685 000	1 814 000	1 871 000
愛知	7 220 000	3 625 000	3 595 000
三重	1 811 000	881 000	930 000
滋賀	1 386 000	685 000	701 000
京都	2 596 000	1 245 000	1 351 000
大阪	8 703 000	4 209 000	4 494 000
兵庫	5 511 000	2 634 000	2 877 000
奈良	1 392 000	659 000	733 000
和歌山	997 000	468 000	529 000
鳥取	585 000	280 000	306 000
島根	713 000	340 000	373 000
岡山	1 928 000	925 000	1 003 000
広島	2 830 000	1 367 000	1 463 000
山口	1 440 000	678 000	762 000
徳島	782 000	371 000	411 000
香川	989 000	474 000	515 000
愛媛	1 424 000	670 000	754 000
高知	762 000	357 000	405 000
福岡	5 032 000	2 379 000	2 653 000
佐賀	846 000	398 000	448 000
長崎	1 420 000	662 000	758 000
熊本	1 810 000	851 000	959 000
大分	1 189 000	560 000	629 000
宮崎	1 132 000	531 000	601 000
鹿児島	1 702 000	795 000	907 000
沖縄	1 385 000	678 000	707 000

資料：「平成22年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健統計課で推計。

20大都市人口（総人口）

20大都市 (再掲)	総数
東京都区部	8 949 000
札幌市	1 914 000
仙台市	1 046 000
さいたま市	1 223 000
千葉市	962 000
横浜市	3 690 000
川崎市	1 426 000
相模原市	718 000
新潟市	812 000
静岡市	716 000
浜松市	801 000
名古屋市	2 264 000
京都市	1 474 000
大阪市	2 666 000
堺市	842 000
神戸市	1 545 000
岡山市	710 000
広島市	1 174 000
北九州市	977 000
福岡市	1 464 000

資料：「平成22年国勢調査人口速報集計結果」  
(総務省統計局)

(付表)  
年齢調整死亡率の算出に用いた人口  
基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総数	120 287 000



③ 年齢5歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較

年齢階級	平成22年	平成21年	対前年増減
	人	人	人
総数	126 371 000	125 820 000	551 000
0～4歳	5 375 000	5 323 000	52 000
5～9	5 537 000	5 639 000	△ 102 000
10～14	5 906 000	5 902 000	4 000
15～19	6 000 000	6 001 000	△ 1 000
20～24	6 513 000	6 677 000	△ 164 000
25～29	7 218 000	7 272 000	△ 54 000
30～34	8 110 000	8 394 000	△ 284 000
35～39	9 582 000	9 535 000	47 000
40～44	8 573 000	8 424 000	149 000
45～49	7 936 000	7 703 000	233 000
50～54	7 586 000	7 651 000	△ 65 000
55～59	8 611 000	9 061 000	△ 450 000
60～64	9 976 000	9 356 000	620 000
65～69	8 213 000	8 342 000	△ 129 000
70～74	6 991 000	6 879 000	112 000
75～79	5 973 000	5 791 000	182 000
80～84	4 367 000	4 221 000	146 000
85～89	2 469 000	2 323 000	146 000
90～94	1 046 000	966 000	80 000
95～99	333 000	312 000	21 000
100～	57 000	48 000	9 000

資料：「平成22年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

ただし、「85～89」、「90～94」、「95～99」及び「100～」については、総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健統計課で推計。  
「平成21年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

④ 年齢5歳階級別人口（日本人女性人口）の対前年比較

年齢階級	平成22年	平成21年	対前年増減
	人	人	人
15～19歳	2 925 000	2 924 000	1 000
20～24	3 163 000	3 239 000	△ 76 000
25～29	3 522 000	3 553 000	△ 31 000
30～34	3 986 000	4 126 000	△ 140 000
35～39	4 720 000	4 697 000	23 000
40～44	4 238 000	4 167 000	71 000
45～49	3 939 000	3 825 000	114 000
計	26 492 000	26 531 000	△ 39 000

資料：各年「10月1日現在推計人口」（総務省統計局）等



○本冊子は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

○リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。